

盛岡市総合計画実施計画

— 平成29年度実績（まちづくりの取組） —

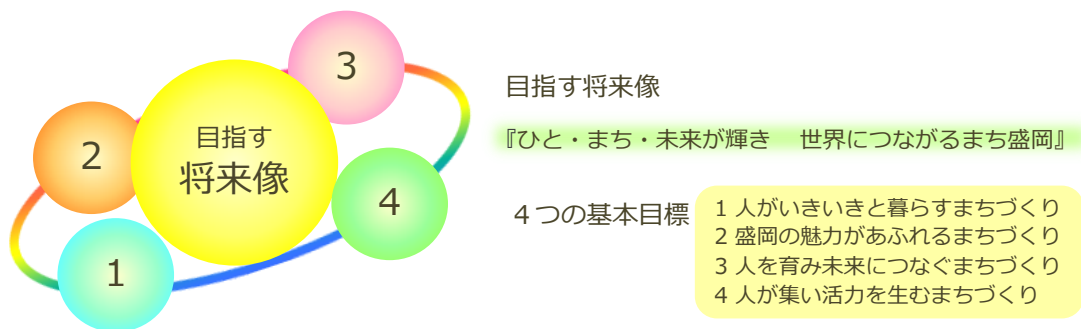
目 次

1	施策体系のしくみ	1
2	まちづくりの取組	3
	(1) 施策別	3
	(2) 主要事業の実績額一覧（基本目標・施策別）	79
3	計画額と実績額の差が1億円以上となった主要事業	83
4	平成29年度完了事業	85

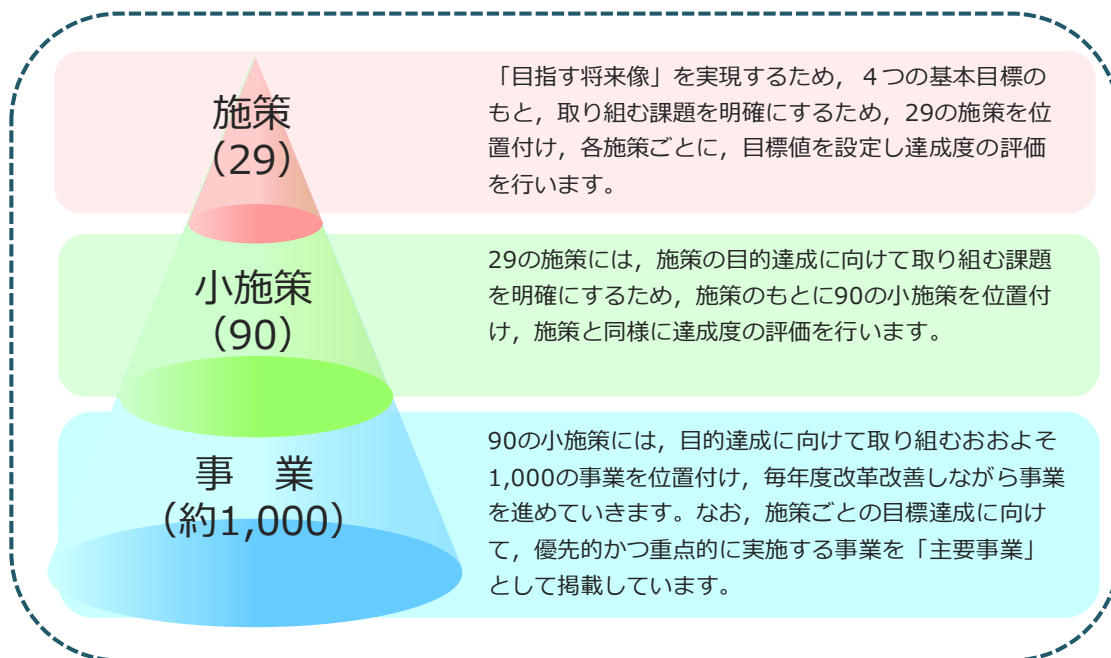
1 施策体系のしくみ

(1) 施策体系のしくみ

基本構想に定める「目指す将来像」を実現するために、次のような体系を構成し、施策を展開します。



まちづくりの取組



(2) 施策体系図

4つの基本目標のもと、取り組む施策間で十分に連携を図り、効果的にまちづくりを進めていくことが必要です。ここでは、それぞれの施策と基本目標との関連性を示し、「目指す将来像」の実現に向けて各施策がどのように取り組んでいくかを示します。

また、それぞれの施策がどの「基本目標」に関係するかを示すだけでなく、施策間で連携することを意識できるように示しています。

< 目指す将来像の実現に向けた4つの基本目標と29の施策 >

目指す将来像	ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡				
4つの基本目標	1 人がいきいきと暮らすまちづくり	2 盛岡の魅力があふれるまちづくり	3 人を育み未来につなぐまちづくり	4 人が集い活力を生むまちづくり	
29の施策	1 地域福祉の推進				
	2 子ども・子育て、若者への支援				
	3 高齢者福祉の充実				
	4 健康づくり・医療の充実				
	5 障がい者福祉の充実				
	6 生活困窮者への支援				
	7 人権尊重・男女共同参画の推進				
	8 安全・安心な暮らしの確保				
	9 地域コミュニティの維持・活性化				
	10 生活環境の保全				
		11 歴史・文化の継承			
		12 芸術文化の振興			
		13 スポーツの推進			
		14 「盛岡ブランド」の展開			
		15 良好な景観の形成			
		16 計画的な土地利用の推進			
			17 子どもの教育の充実		
			18 生涯学習の推進		
			19 社会を担う人材の育成・支援		
			20 地球環境の保全と自然との共生		
				21 農林業の振興	
				22 商業・サービス業の振興	
				23 工業の振興	
				24 観光の振興	
				25 雇用の創出	
				26 都市基盤施設の維持・強化	
				27 交通環境の構築	
				28 国際化の推進	
				29 都市間交流の促進	

※ 施策 関係施策

2 まちづくりの取組

(1) 施策別

施策別の見方

施策の方針について掲載しています。

施策1 地域福祉の推進

誰もが住み慣れた地域で、それぞれの個性や尊厳を認め合いながら、共に生活を続けることが・・・

主要事業の主な取組と、各事業内容、実績を掲載しています。

- ・「新市」欄の「★」は、玉山村との合併時に策定した「盛岡市・玉山村新市建設計画」に記載されている主要事業です。なお、「(★)」は、事業の一部が「盛岡市・玉山村新市建設計画」に記載されている主要事業です。
- ・「計画額」は、平成29年度当初予算額です。
- ・「実績額」は、平成29年度予算額に対する実績額です。
- ・「翌年度繰越額」は、平成30年度へ繰り越した予算額です。
- ・「計画額」「実績額」とも、四捨五入しているため、計と合致しない場合があります。

地域福祉コーディネーターを中心に市内の相談支援機関が連携し、地域の相談事を受け止め、・・・

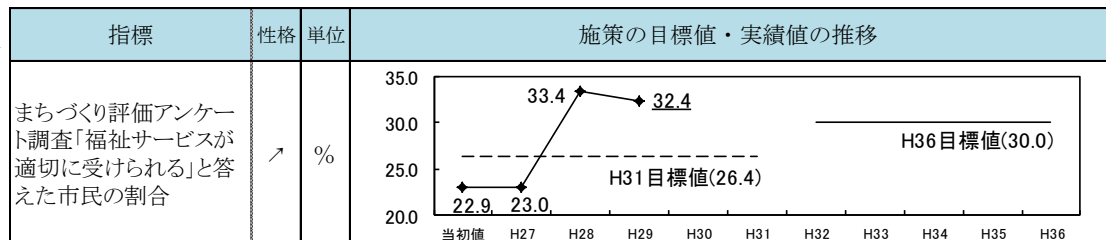
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地域トータルケアシステム構築事業(地域福祉コーディネーターネットワーク構築事業)	一般		地域福祉コーディネーター等のネットワーク構築の推進	30	23	0

まちづくり指標(成果指標)の状況を掲載しています。

- ・指標は、統計値やアンケート調査の結果に基づいています。
- ・「性格」欄の「↑」は数値を上げていくことを、「↓」は数値を下げていくことを、「→」は現状を維持していくことを目標としています。
- ・「当初値」は、基本的に平成25年度の実績値を用いています。

■ まちづくり指標(成果指標)の状況



施策に対する市民の実感の状況を掲載しています。

- ・施策への取組状況などについて、市民の皆さんがどのように感じているか、無作為抽出した市民3,000人を対象に毎年アンケート調査を行い、その結果を「市民の実感」として掲載しています。
- ・小数点第2位を四捨五入して算出していますので、合計が100%とならない場合があります。

■ 施策に対する市民の実感

「共に支え合い安心して暮らすことができる地域社会の実現に向けた取組が行われている」と感じる市民の割合

H29	0.7%	19.0%	58.1%	11.7%	3.6%	6.9%
H28	1.2%	18.9%	57.0%	12.6%	3.0%	7.2%

施策を構成する小施策毎に、現状の問題点や今後の方向性を掲載しています。

■ 現状の問題点と今後の方向性

- ・ 支援を必要とする人が福祉サービスを受けられる仕組みづくり
(現状の問題点)

個人や世帯が抱える生活課題は、多様化・複雑化あるいは深刻化しており、一つの相談機関では・・・

(今後の方向性)

解決困難な事例を調整し、必要なサービスに結びつける為には、その仕組みを安定的なものとして・・・

基本目標 1 人がいきいきと暮らすまちづくり

施策 1 地域福祉の推進

誰もが住み慣れた地域で、それぞれの個性や尊厳を認め合いながら、共に生活を続けることができるように、地域住民が互いに支え合う地域社会の形成を推進します。

■ 主要事業の実績

地域福祉コーディネーターを中心に市内の相談支援機関が連携し、地域の相談事を受け止め、チームとして支援できる体制を構築しました。また、「地域力強化推進事業」として、モデル地区を複数選定し、地域住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援しました。更に、高齢者や子育てをしている者を地域で支える取り組みとしてシルバーサロン事業の推進及びボランティア養成等に取り組みました。

災害の発生に備え、避難行動要支援者名簿を毎年更新して、災害時の支援が必要な方の把握に努めました。

地域福祉を支える人材の育成に取り組み、地域福祉や地域共生社会の形成促進を図りました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地域トータルケアシステム構築事業（地域福祉コーディネーターネットワーク構築事業）	一般		地域福祉コーディネーター等のネットワーク構築の推進	30	23	0
盛岡市社会福祉協議会運営費補助事業	一般	(★)	(社福)盛岡市社会福祉協議会の運営費補助	136	131	0
社会福祉法人指導監督等事業	一般		社会福祉法人の指導監督や設立認可など	12	12	0
地域福祉団体育成事業	一般		地域福祉の推進拠点である地区福祉推進会に対する運営費補助	3	3	0
地域福祉計画推進事業	一般		地域福祉活動の中核的な担い手の育成など	0	0	0
施策の計（一般会計）				181	169	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「福祉サービスが適切に受けられる」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 22.9, H27 23.0, H28 33.4, H29 32.4, H31 目標値(26.4), H36 目標値(30.0)</p>
まちづくり評価アンケート調査「地域で支え合いが進んでいる」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 29.4, H27 24.0, H28 26.3, H29 27.8, H31 目標値(31.7), H36 目標値(34.0)</p>

- 「福祉サービスが適切に受けられる」と答えた市民の割合／○ 順調に進捗

目標値を越えている背景には、高齢化社会の進展により、介護サービス等を受けたいと考える方、若しくは家族に受けさせたいと考える方が増加し、地域における福祉サービスの需要が高まっていることが背

景にあると考えられます。また、ゴミ屋敷など、複合的な要因により解決困難な事例に対しても、多様な支援機関同士が連携して取り組み、社会福祉協議会や民生委員などを通じて、地域に浸透しつつあります。

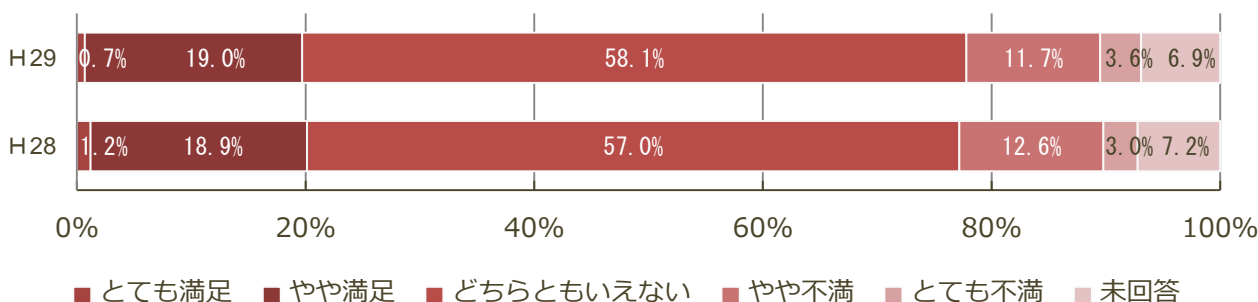
・ 「地域で支え合いが進んでいる」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

当初値に対しては低いものの、これまでの取組が功を奏し、27年度以降、地域での支え合いが進んでいると答えた方が年々増加しています。これは、ふれあいサロンの開催等が年々増加していることや、毎年、全国各地での自然災害等の発生が報じられることによる防災意識の高まりが背景にあると考えられます。

ただし、未だ目標値を下回っている状況であることから、今後は目標達成に向け、地域住民が自主的に支えあえるような環境づくりについて、関係機関と連携して進める必要があります。

■ 施策に対する市民の実感

「共に支え合い安心して暮らすことができる地域社会の実現に向けた取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 支援を必要とする人が福祉サービスを受けられる仕組みづくり

(現状の問題点)

個人や世帯が抱える生活課題は、多様化・複雑化あるいは深刻化しており、一つの相談機関では対応困難であり、複数の相談機関の連携による支援を必要とする事案が、一定程度存在しています。

(今後の方向性)

解決困難な事例を調整し、必要なサービスに結びつける為には、その仕組みを安定的なものとして構築する必要があることから、地域福祉計画に記載されている地域福祉コーディネーターの増員を目指すとともに、多様な支援機関が包括的に支援する体制を構築するため、多様な機関が連携しやすい体制づくりを推進します。

また、民生児童委員の相談業務の複合化・多様化等により、見守りなどの事例が増加していることから、民生委員・児童委員報酬金の見直しを行い、地域のひきこもり者への働きかけなど、見守り体制等の活動の充実を図ります。

・ 共に支え合うことができる地域環境づくり

(現状の問題点)

支援を求める地域住民に対し、支援を提供したいと考える人が、いずれの地域にも潜在的にいるものの、市内全域に広げるところまでは至らず、全市的に、地域住民による支え合い活動が活発化するところでは至っていません。

(今後の方向性)

全国で毎年の様に非常災害が群発しており、住民による防災意識が高まりを見せていますが、世帯構成の多様化や、地域コミュニティの希薄など地域社会を取り巻く環境が変化し、従来の地縁を中心とした地域福祉活動が、その機能を十分に発揮できない状況になっています。

これを踏まえ、先行実施した各モデル地区の状況を検証し、他地区にその活動内容を紹介して、支

えあい意識を各地区に広げていけるような取組を進めていきます。

- ・ **地域福祉を担うひとづくり**

- (現状の問題点)

- 第二期地域福祉計画策定時のアンケートにおいて、「活動内容によっては地域活動に参加していい」、「声がけなどの日常生活の支え合いに活動に協力することができる」と回答した人が一定程度ありましたが、実際の活動につながっていないケースが多くあると考えられるほか、福祉活動やボランティアに関心を示す団体が、実際に取組を行う場合に、その方法が分からず地域での活動が停滞することが懸念されています。

- (今後の方向性)

- 地域福祉計画の目標である「人材の育成」を進めるため、地域福祉活動に取り組みたいと考える個人・団体に対し、福祉を取り巻く状況や現在の取組を紹介するためフォーラムや講座を行うほか、社会貢献としての地域福祉活動を行う方法について、個人・団体と、町内会や地区福祉推進会などが、小地域レベルでニーズのマッチングを行うことができる仕組みづくりを進めることで、社会福祉に関与したいと考える人々を増やします。

施策2 子ども・子育て、若者への支援

子どもの最善の利益を第一に、希望を持って子どもを産み育て、全ての子どもが健やかに成長できるように、子ども・子育て支援を進めます。

また、困難を抱える若者が自立できるように、社会全体で支援する仕組みを構築します。

■ 主要事業の実績

小規模保育事業所の新設や認定こども園の改築等の実施により、115人の定員増につなげ、さらに定員の弾力化にも積極的に取り組み、30年4月1日時点で待機児童0人を達成しました。

また、子ども未来基金を活用し、市民、団体などが主体的に行う子ども・子育て支援活動に補助を行いました。

新たに子育て応援プラザ^マmall^{モール}を開設しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
私立児童福祉施設等運営事業	一般		認可された私立保育所、母子生活支援施設、助産施設の運営委託	5,614	5,461	0
認定こども園等運営費給付事業	一般		認定こども園や地域型保育事業による保育施設への給付	2,028	2,082	0
保育所管理運営事業	一般		市内公立保育所の管理運営	473	441	0
特別保育事業	一般	★	保育所での延長保育、一時預かりの実施	205	200	0
地域子育て支援センター事業	一般	★	市内の保育所8園での保育所開放、交流の場の提供、子育て講座、子育て情報の提供など	63	63	0
子育て世代包括支援センター事業	一般		妊婦相談や乳幼児家庭訪問、出張子育て相談、子育て支援サービス等の情報提供、ケアプラン作成など	10	10	0
子ども未来基金事業	一般		市民等が実施する子ども及びその保護者に対する支援活動に要する経費の助成	11	10	0
子育て応援プラザ運営事業	一般		室内遊び場や託児機能を備えた子育て支援エリアと、子どもと離れずに働くことができるワーキングスペースを運営する民間事業エリアの運営	25	25	0
医療費給付事業（妊産婦）	一般		妊産婦医療費給付	95	158	0
医療費給付事業（乳幼児）	一般		乳幼児医療費給付	374	435	0
医療費給付事業（小学生）	一般		小学生医療費給付	190	206	0
母子保健事業	一般		妊婦健康診査、母親教室などの開催、子育て相談	250	239	0
乳幼児健康診査事業	一般	★	3歳児までの各健康診査など	108	105	0
小児救急輪番制病院事業	一般		休日、夜間などに入院治療を必要とする小児重症救急患者を輪番制で診療する病院への運営費補助	28	28	0
施策の計（一般会計）				9,476	9,463	0

- ・ 私立児童福祉施設等運営事業

29年度公定価格の加算認定の結果、チーム保育推進加算の適用施設が大幅に減となったこと及び他市町村委託児童数が減になったため、実績額が小さくなりました。

- ・ 医療費給付事業（妊産婦、乳幼児）

償還払い方式から現物給付方式に変更されたことから市の立替額が増加し、実績額が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																																				
子育て支援サービス利用者数	↗	人	<table border="1"> <caption>子育て支援サービス利用者数</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>H33</td><td>H34</td><td>H35</td><td>H36</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>70,179</td><td>76,691</td><td>80,233</td><td>79,779</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>74,000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>77,000</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	実績値	70,179	76,691	80,233	79,779								目標値						74,000					77,000
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																												
実績値	70,179	76,691	80,233	79,779																																			
目標値						74,000					77,000																												
まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合	↘	%	<table border="1"> <caption>子育てをつらいと感じている親の割合</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>H33</td><td>H34</td><td>H35</td><td>H36</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>19.2</td><td>22.0</td><td>24.0</td><td>30.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>14.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>10.0</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	実績値	19.2	22.0	24.0	30.0								目標値						14.5					10.0
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																												
実績値	19.2	22.0	24.0	30.0																																			
目標値						14.5					10.0																												
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>支援策・支援活動が充実していると感じる市民の割合</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>H33</td><td>H34</td><td>H35</td><td>H36</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>17.0</td><td>13.3</td><td>15.2</td><td>16.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>40.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>50.0</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	実績値	17.0	13.3	15.2	16.0								目標値						40.0					50.0
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																												
実績値	17.0	13.3	15.2	16.0																																			
目標値						40.0					50.0																												

- ・ 子育て支援サービス利用者数／◎ 非常に順調に進捗

新たに開設した子育て応援プラザ^{マモール} ma*mallの公共エリアにおいて 7,150人の利用がありました。子育て支援サービス利用者数は28年度よりも若干減少したものの、31年度目標値を上回っています。

- ・ 「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合／△ 遅れが生じている

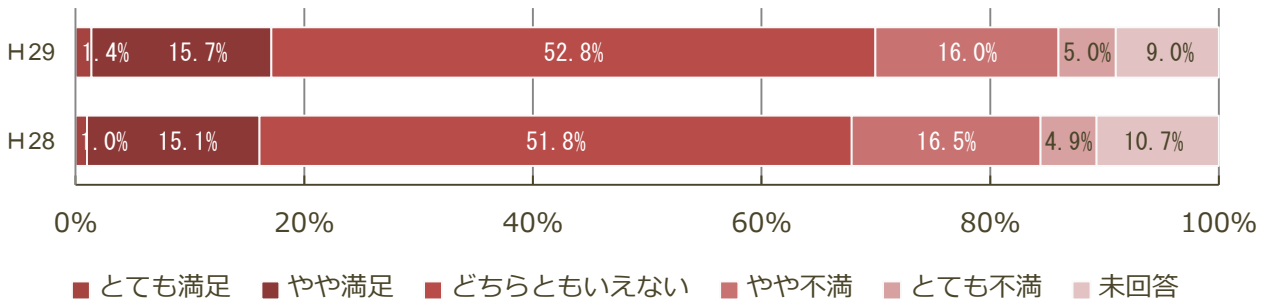
発達障害、貧困、虐待などの複数の困難を抱えている世帯や、核家族化の進行による父母（またはひとり親）のみで子育てをする世帯が増加していることが影響していると考えられます。

- ・ 「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

子ども未来基金を活用した市民や団体が行う子ども・子育て支援活動への補助、子育て応援プラザの開設など新しい子育て支援策・支援活動を展開していますが、ニーズ把握や周知が十分でないと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「安心して産み・育てられる子育て支援の取組が充実している」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 保育環境の充実

（現状の問題点）

小規模保育所の新設や認定こども園の改築等への支援などによる定員拡大により、4月1日時点の待機児童数は0人となりましたが、年間を通じた待機児童は解消できておらず、保育を担う保育士は、募集してもなかなか見つからないなど確保に苦慮しています。また、就学後も、希望する放課後児童クラブに入れられない場合があります。

（今後の方向性）

待機児童の現状及び動向を適切に把握し、施設整備や保育所定員の弾力化などへの支援を強化し、保育の受け皿の確保を行います。また、保育士の確保や定着のため、新たな施策に取り組みます。

放課後に児童が安全・安心に過ごすことができる居場所づくりの方針を策定し、計画的に整備を進めます。

・ 育児不安の軽減

（現状の問題点）

虐待等の相談件数が増加しており、今後更に増加していくことが予想されます。

子ども未来基金が持続可能なものとなるよう、更なる寄附を募っていく必要があります。

子育て応援プラザの民間事業エリアの経営拡大と安定化及び公共エリアの更なる充実を図る必要があります。

（今後の方向性）

30年度に開設した「子ども家庭総合支援センター」を、「子育て世代包括支援センター」と一体的に運営することにより、妊娠期から子育て期までのワンストップの子育て支援拠点の充実を図るとともに、要保護児童対策地域協議会を活用し、関係機関との連携により児童虐待の発生予防と早期発見・早期対応を図ります。

子育て中の親子の交流の場の提供や子育て相談、情報提供の取組を強化します。

子ども未来基金を活用した子ども・子育て支援活動の発表の場などを通じ、子ども未来基金の周知を図るとともに、クラウドファンディング等を活用しながら、更なる寄附募集に努めます。

・ 支援体制の充実

（現状の問題点）

医療費給付事業に係る自己負担額の全額無料化は、継続的に多額の経費を要します。

医療費給付事業の給付方式を現物給付方式とすることにより、国民健康保険国庫負担金の減額措置を受け、国保財政に負担が生じます。

（今後の方向性）

医療費給付事業に係る自己負担額の全額無料化について、年間医療費の試算などを行い、確実に実

施できるかを検討します。

医療費給付事業の現物給付方式導入は、県及び県内市町村が統一して行っていることから、県内市町村と連携を図り、県に現物給付方式の導入を要請していきます。

国民健康保険国庫負担金の減額措置撤廃について、全国市長会、中核市市長会、県市長会を通じて引き続き国に対し要望します。

- ・ **母子保健・予防の推進**

- (現状の問題点)

- 不妊に悩む方への特定治療支援事業の助成金の上乗せについての要望が出ています。

- (今後の方向性)

- 産後まもなく安心して子育てが出来る環境づくりのために、産婦健康診査や産後ケア事業を開始し、母子保健事業の充実を図ります。

- 不妊に悩む方への特定治療支援事業の助成金の上乗せについて、引き続き検討します。

- ・ **困難を抱えた子ども・若者の支援**

- (現状の問題点)

- 子ども・若者に関する相談件数が伸び悩んでいます。

- (今後の方向性)

- もりおかユースネットについて、引き続き登録団体の増加を目指すとともに、各団体への情報発信を強化します。

- 子ども家庭総合支援センター及び関係各課と連携し、青少年相談員による訪問相談の拡充を図ります。

- 関係機関に積極的に出向き、「子ども家庭総合支援センター」や「少年センター」等が、子ども・若者の相談機関であることの周知や、支援や相談者の情報共有を図ります。

- ・ **児童・青少年の健全育成**

- (現状の問題点)

- 困難や悩みを抱える少年の現状が見えにくくなり、インターネット利用から犯罪に巻き込まれる事案も増加しています。

- 補導後の対応や情報共有について、関係機関との連携・通報の措置方針が決まっていません。

- 少年センターで受ける相談件数が減少しています。

- (今後の方向性)

- 少年センターによる出前講座の開催などにより、インターネット利用の弊害について普及啓発を図ります。

- 少年センターで発行している「悩み相談カード」の配布対象を広げ、相談機関の周知を図ります。

- 子ども家庭総合支援センター及び青少年相談員との連携を図り、相談体制を強化します。

- 補導後の措置方針を定め、学校など関係機関への周知・連携を図ります。

施策3 高齢者福祉の充実

高齢者が健康で生きがいを持ち、安心して暮らすことができる長寿社会の実現を目指し、高齢者の社会参加を促進するとともに、介護予防や認知症対策などを推進するほか、介護サービス提供体制を強化するなど、高齢者福祉の充実を図ります。

■ 主要事業の実績

29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業に取り組み、介護予防等事業利用者数及び生きがい活動をしている高齢者数の増加につなげました。

また、地域包括支援センターを市内9か所に設置し、年間約1万6千件の多種多様な相談への対応、介護保険の運営及び在宅医療・介護連携への取組など、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう「地域包括ケアシステム」の構築に努めました。

生きがい活動を支援する「老人福祉センター管理運営事業（28施設）」、「老人クラブ活動促進事業」、「もりおか老人大学開催事業」等を通じ、高齢者の社会参加を促進しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地域包括ケアシステム構築事業 (地域支援事業)	介護		介護予防事業、地域包括支援センターの運営など	879	590	0
生きがい活動推進事業	一般		老人作品展・老人芸能大会等の支援、敬老バスの運行、スポーツ振興など	30	27	0
介護保険事業（繰出金）	一般		介護保険特別会計への一般会計繰出金	3,453	3,485	0
介護保険事業（施設整備）	一般		老人福祉施設整備に対する補助	320	320	0
介護保険事業（特別会計）	介護		介護保険制度の周知、介護保険サービスの運用など	23,853	24,323	0
施策の計（一般会計）				3,803	3,832	0
施策の計（一般会計以外）				24,732	24,913	0

・ 地域包括ケアシステム構築事業（地域支援事業）

29年度に総合事業に移行した介護予防訪問介護及び介護予防通所介護において、実際の利用者が見込みを下回ったため、実績額が小さくなりました。

・ 介護保険事業（特別会計）

介護保険サービスの利用の増加により保険給付費が増加したため、実績額が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																					
75歳介護保険認定者数／75歳人口*	→	%	<table border="1"> <caption>75歳介護保険認定者数／75歳人口の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>9.8</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>9.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>10.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>8.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>9.8</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	9.8	9.8	H27	9.3		H28	10.1		H29	8.9		H31		9.8	H36		9.8
年度	実績値	目標値																						
当初値	9.8	9.8																						
H27	9.3																							
H28	10.1																							
H29	8.9																							
H31		9.8																						
H36		9.8																						
まちづくり評価アンケート調査「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>66.0</td> <td>66.7</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>66.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>56.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>57.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>66.7</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>66.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	66.0	66.7	H27	66.6		H28	56.4		H29	57.3		H31		66.7	H36		66.7
年度	実績値	目標値																						
当初値	66.0	66.7																						
H27	66.6																							
H28	56.4																							
H29	57.3																							
H31		66.7																						
H36		66.7																						

* 「75歳介護保険認定者数／75歳人口」は27年度から新たに設定した指標です。当初値は26年度の実績値としています。

・ 75歳介護保険認定者数／75歳人口／○ 順調に進捗

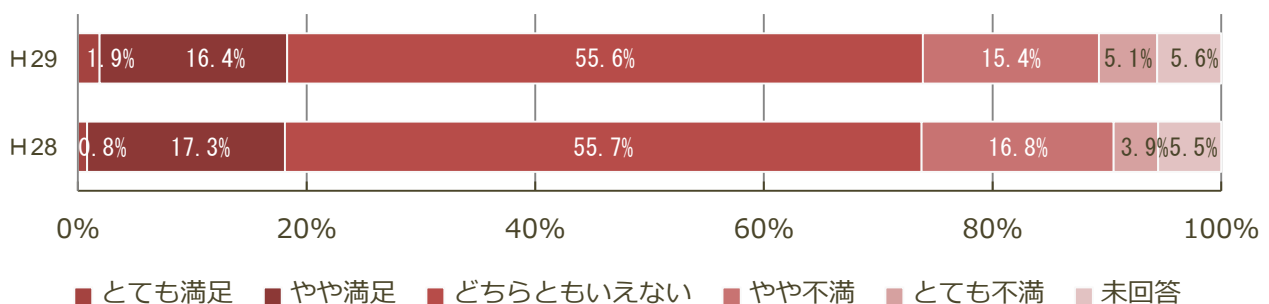
目標値前後で推移しているが、要因としては、医療の進歩、食生活の向上や健康に対する高齢者の意識の変化等により健康寿命が延び、元気な高齢者の割合が維持されていることが考えられます。

・ 「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合／△ 遅れが生じている

29年度から実施している介護予防・日常生活支援総合事業にあわせて、元気はなまる教室の開催会場数を拡大した結果、参加者数が増加するなど一定の成果につなげているが、依然目標値を下回っていることから、高齢者の身近な地域における住民主体の通いの場を増やし、目標達成に向けた取組を加速する必要があります。

■ 施策に対する市民の実感

「高齢者が積極的に社会参加できる取組や高齢者福祉サービスが充実している」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 地域包括ケアシステムの構築

（現状の問題点）

地域包括支援センターの認知度に係るアンケート調査の結果、認知されている割合は47.0%となっており、認知度が高いとは言い難い状況です。

（今後の方向性）

今後も、地域包括支援センターの周知を行い、高齢者が相談しやすい環境づくりに努めます。

30年度から地域包括支援センターに配置した生活支援コーディネーター（兼）認知症地域支援推進員とも連携し、地域包括ケアシステムの深化に努めます。

・ 高齢者の健康・生きがい対策の充実

（現状の問題点）

生きがい活動の場が、必ずしも住民に近い場所とは限らない状況です。

（今後の方向性）

老人福祉センター等での介護予防事業の実施のほか、住民主体の通いの場を充実するための事業を行うなど、介護予防・日常生活支援総合事業の充実を図り、高齢者の健康・生きがい対策の充実に努めます。

・ 高齢者福祉サービスの充実

（現状の問題点）

今後、要介護認定者の増加が予測され、介護サービス給付費の増大と介護職員の人手不足が懸念されます。

（今後の方向性）

参加者のニーズを捉えた介護予防事業の実施や、地域包括支援センターなど身近な相談窓口の更なる周知及び関係機関との連携強化に努めます。

介護職員の定着促進を図るため、介護従事者確保事業の拡充を行います。

施策4 健康づくり・医療の充実

生涯にわたり健やかに暮らすことができるように、健康相談や健康診査などを実施するとともに、医療体制の拡充や医療費を助成するなど、健康づくりと医療の充実を図ります。

■ 主要事業の実績

胃がん個別検診における胃がんエックス線と内視鏡検診の選択導入や、特定健康診査における受診勧奨通知やチラシ文面の工夫及び訪問による受診勧奨により、受診率の向上に努めました。

盛岡市医師会及び盛岡市歯科医師会へ在宅当番医の業務を委託するとともに、夜間の初期救急医療体制（内科・小児科）を年中無休で運営することにより、初期救急医療体制の充実を図りました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
各種健康診査事業	一般	★	女性健康診査や各種がん検診など	464	480	0
健康教育事業	一般	★	保健所フェスタ健康講座、ウォーキング教室、地区健康教室、病態別栄養教室などの開催	2	2	0
精神保健福祉事業	一般		こころの健康についての保健相談、自殺対策強化など	4	3	0
予防接種事業	一般		インフルエンザなどの各種予防接種	802	782	0
感染症対策事業	一般		感染症に関する検診や予防対策の周知など	28	25	0
食品衛生指導事業	一般		食品営業施設の監視指導や食品営業許可など	8	7	0
生活衛生指導事業	一般		公衆浴場に対する営業許可や井戸水の検査など	1	1	0
医務業務指導事業	一般		医療施設の開設許可や薬局・医薬品販売などの許可・登録、病院等への立入検査	1	1	0
第二次救急医療事業	一般	★	休日、夜間などに入院治療を必要とする重症救急患者を輪番制で診療する病院への運営費補助	61	38	0
在宅当番医制事業	一般		休日などに開院する内科、小児科、外科・整形外科、歯科の在宅当番医による診療	8	8	0
夜間急患診療所管理運営事業	一般		夜間の初期救急患者のための内科、小児科の診療（年中無休）	70	69	0
国民健康保険事業（繰出金）	一般		国民健康保険費特別会計への一般会計繰出金	2,029	1,821	0
国民健康保険事業（特別会計）	国保		国民健康保険の被保険者への保険給付、人間ドック等の保健事業など	31,566	30,436	0
後期高齢者医療事業（繰出金など）	一般		医療給付に要する費用、健康診査等助成及び特別会計への一般会計繰出金など	3,266	3,237	0
後期高齢者医療事業（特別会計）	後期高齢		申請受付、保険料の徴収及び保険基盤安定負担金を含む広域連合納付金など	2,940	2,962	0
施策の計（一般会計）				6,744	6,474	0
施策の計（一般会計以外）				34,507	33,398	0

・ 第二次救急医療事業

医療提供体制推進事業費補助金については、29年度計画として、もりおかこども病院のデジタルX線装置等の整備を事業計画として岩手県に提出しましたが、採択されなかったことから実施を見送ったため、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
3大死因 ^{*1} の死亡率(人口10万対年齢調整死亡率 ^{*2}) ^{*3}	↘	割合	
まちづくり評価アンケート調査「身近に健康について相談できる人がいる」と答えた市民の割合	→	%	
まちづくり評価アンケート調査「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合	→	%	

*1 3大死因

悪性新生物，心疾患，脳血管疾患のことです。

*2 年齢調整死亡率

人口構成の異なる集団間で比較するために，死亡率を一定の基準人口にあてはめて算出した指標です。

*3 平成29年度の実績値は，31年3月に公表予定です。

・ 3大死因の死亡率（人口10万対年齢調整死亡率）／◎ 非常に順調に進捗

・ 「身近に健康について相談できる人がいる」と答えた市民の割合／○ 順調に進捗

個々の状況に配慮した多様な情報発信，地域の中での情報共有機会の活用，さらには地域の相談役や各専門機関と連携を深め，相談窓口の周知と漏れのない相談体制を整えることが重要と考えます。

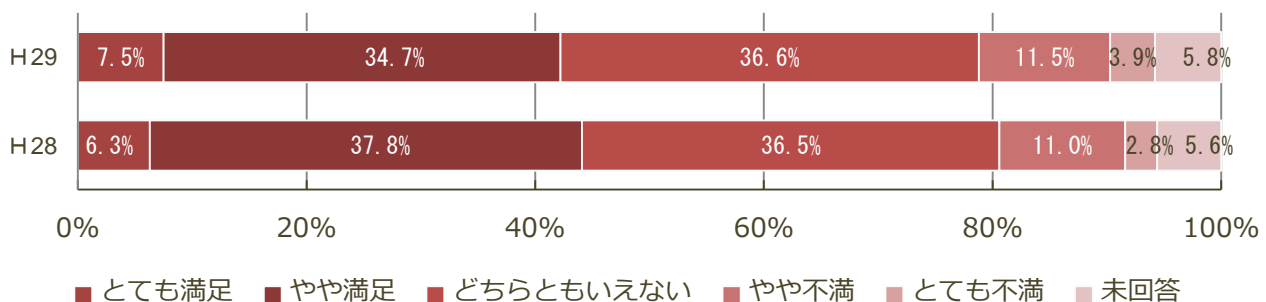
また，自殺対策事業として，教育・福祉関係者等を対象としてゲートキーパー研修を実施しており，受講者がゲートキーパーとなって周りの人の悩みを傾聴することにより，こころの健康づくりにつながっているものと考えられます。

・ 「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

減少傾向にあることから，何でも相談できるかかりつけ医を持ち，体調が悪い時には早期の受診が有効であることの周知を図っていきます。

■ 施策に対する市民の実感

「健康診断や予防接種，健康相談がしやすい」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 健康の保持増進

（現状の問題点）

3大死亡率の推移は減少傾向にあるものの、身近に相談できる人やいつでも受診できる医療機関があると回答した割合は減少傾向にあります。

（今後の方向性）

誰もが、地域健康福祉の活動に取り組みやすく、また、的確な支援が受けることができる地域を目指すため、地域の相談役や各専門機関と連携を深め、相談窓口の周知と漏れのない相談体制を整えます。

・ 保健・予防の推進

（現状の問題点）

結核罹患率が低下傾向にあり、全国平均を下回っていますが、結核患者に占める高齢者の割合が増加傾向にあります。

（今後の方向性）

感染症対策や予防接種について、市民への周知・啓発及び対象者への個別通知等を継続して実施するとともに、結核検診の要精密検査対象者へ受診勧奨を行うなどにより、感染症の拡大防止及び予防接種の接種率向上を図ります。

・ 生活衛生対策の推進

（現状の問題点）

約 9,500件ある監視対象施設について、食品衛生監視員が不足していることから、すべての施設の監視が困難な状況となっています。

（今後の方向性）

重点監視対象施設を中心に、引き続き計画的に監視指導を実施します。

改正食品衛生法の施行を見据え、監視対象施設の見直しを検討します。

収去検査及び検査結果に応じた衛生指導を継続します。

食品事業者等への監視指導及び衛生講習による食品衛生の普及啓発を継続します。

・ 医療機関との連携強化

（現状の問題点）

31年9月の岩手医科大学附属病院の矢巾移転後、他の医療機関への患者の集中が想定されます。

（今後の方向性）

（仮称）内丸メディカルセンターの診療体制等について情報収集するとともに、盛岡保健医療圏8市町や郡市医師会と情報共有を図りながら、医大移転に伴う影響と課題等について協議を行います。

・ 健康保険制度の健全運営

（現状の問題点）

30年度から、県に国民健康保険制度の特別会計が新設され、保険給付に係る費用は県から全額交付される一方で、その費用は市町村ごとに課せられる「事業費納付金」で賄われることとなります。本市の場合、現状の税収では財源不足が生じることから、積み増しを行ってきた国民健康保険費財政調整基金を取り崩すことで30年度当初予算を編成しており、現行税率を引き続き維持するためには、更なる収納率の向上、医療費抑制に向けた施策の充実・強化が急務となっています。

（今後の方向性）

安定的な税収確保のため、現年度保険税における滞納処分への早期着手を推進します。

医療費抑制に向けた施策の充実（第三者求償事務への取組強化、糖尿病等の重症化予防に向けた訪問保健指導・健康教室等の充実、特定健康診査の訪問による受診勧奨の強化・インセンティブの提供、勧奨通知や希望カードの交付による後発医薬品の使用促進）を図ります。

S I B（ソーシャルインパクトボンド）等、成果に応じて報酬（委託料）を支払う事業スキームを検討します。

施策5 障がい者福祉の充実

障がい者が地域の一員として安心して暮らすことができるように、障がいや障がい者への市民の理解と交流を促進するとともに、障がい者福祉サービスの充実を図ります。

■ 主要事業の実績

29年4月から盛岡市基幹相談支援センター（受託者：社会福祉法人千晶会）を設置し、障がい者からの相談受付、相談支援事業者に対する助言、相談支援事業者以外の関係機関からの相談受付、所長による研修会開催等、地域の相談支援体制の充実を図りました。

このほか、「障害を理由とする差別の解消に向けた地域フォーラム岩手」を内閣府、岩手県との共催により開催（来場者123名）しました。

また、短期入所事業所の増床とスプリンクラー設置の整備事業費に対し助成しました。

（単位 百万円）

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地域生活支援事業	一般		意思疎通支援、日常生活支援、移動支援、地域活動支援センター機能強化など	240	236	0
障がい者相談支援事業	一般		身体・知的・精神に係る相談事業、福祉サービスなどに関する情報提供など	35	35	0
障がい者福祉施設整備助成事業	一般		障がい者福祉施設整備に対する助成	12	10	0
介護給付等給付事業	一般		障がい者に対する居宅介護や生活介護、施設入所支援などのサービス給付	2,845	3,008	0
訓練等給付事業	一般		障がい者の機能訓練、生活訓練、就労支援など	2,072	2,223	0
医療費給付事業（重度心身障がい者）	一般		重度心身障がい者医療費給付	722	719	0
医療費給付事業（中度身体障がい者）	一般		中度身体障がい者医療費給付	210	207	0
施策の計（一般会計）				6,136	6,439	0

・ 介護給付等給付事業、訓練等給付事業

利用者の増加に伴い、給付金額が計画額を上回ったため、実績額が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																					
障がい福祉サービス受給者数	↑	人	<table border="1"> <caption>障がい福祉サービス受給者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>2,460</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2,780</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2,969</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3,102</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>3,300</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>4,100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	2,460	-	H27	2,780	-	H28	2,969	-	H29	3,102	-	H31	-	3,300	H31	-	4,100
年度	実績値	目標値																						
当初値	2,460	-																						
H27	2,780	-																						
H28	2,969	-																						
H29	3,102	-																						
H31	-	3,300																						
H31	-	4,100																						
施設から地域への移行*	↑	人	<table border="1"> <caption>施設から地域への移行*</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>96</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>114</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>134</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>144</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>195</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	96	-	H27	114	-	H28	134	-	H29	144	-	H31	-	150	H36	-	195
年度	実績値	目標値																						
当初値	96	-																						
H27	114	-																						
H28	134	-																						
H29	144	-																						
H31	-	150																						
H36	-	195																						
施設から一般就労への移行	↑	人	<table border="1"> <caption>施設から一般就労への移行</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>18</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>45</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>44</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>51</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	18	-	H27	45	-	H28	44	-	H29	51	-	H31	-	19	H36	-	19
年度	実績値	目標値																						
当初値	18	-																						
H27	45	-																						
H28	44	-																						
H29	51	-																						
H31	-	19																						
H36	-	19																						
管内事業所の障がい者雇用率	↑	%	<table border="1"> <caption>管内事業所の障がい者雇用率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>1.74</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1.83</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1.95</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2.12</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>2.00</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>2.00</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	1.74	-	H27	1.83	-	H28	1.95	-	H29	2.12	-	H31	-	2.00	H36	-	2.00
年度	実績値	目標値																						
当初値	1.74	-																						
H27	1.83	-																						
H28	1.95	-																						
H29	2.12	-																						
H31	-	2.00																						
H36	-	2.00																						

* 国の目標値に合わせ、障害者施設からの地域移行者数としています。

・ 障がい福祉サービス受給者数／○ 順調に進捗

障がい福祉サービス受給者は、就労系のサービスや児童の放課後等デイサービスの利用者数の増加等によるものです。

・ 施設から地域への移行／○ 順調に進捗

施設を退所して、グループホームやアパート・一般住宅等地域での生活に移行する人は増加しています。一人暮らしへの移行を希望する障がい者について、30年度創設の自立生活援助サービスにより一定期間巡回訪問などを行うことができるようになり、今後も地域への移行は増加するものと考えられます。

・ 施設から一般就労への移行／◎ 非常に順調に進捗

就労移行支援事業所の増加や事業の主旨が理解されてきたことにより、障がい福祉サービスの利用から一般就労への移行者数が増加しています。また、30年度から法定雇用率が引き上げ（民間企業 2.2%、国や地方公共団体 2.5%）となったことに対応する取組の影響も考えられます。

一方、別調査では年度内に2割が離職しているという結果もあり、就労を継続するための支援が必要となっています。（30年度に就労定着支援サービスが創設されています。）

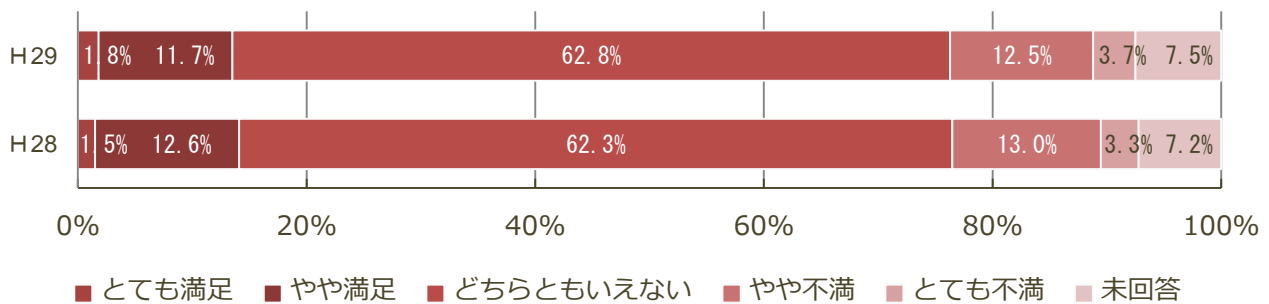
・ 管内事業所の障がい者雇用率／◎ 非常に順調に進捗

就職する障がい者数が年々増加しており、特に精神障がい者は、割合も雇用者数も大きく増加しています。

また、就労継続支援A型事業所は雇用契約による就労をしており、実雇用率に含まれるため、A型事業所数の増加（29年度末：17か所）も、障がい者雇用率上昇の理由の一つと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「障がい者が安心して暮らすことができるまちづくりや障がい福祉サービスが充実している」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 障がい者への理解と交流の促進

（現状の問題点）

28年度から障害者差別解消法が施行されていますが、29年度に内閣府が行った世論調査では、この法律を知っていると答えた人は2割であり、認知度が低い状況です。また、法施行後も、差別事例や合理的配慮に欠けた事例の相談があります。

（今後の方向性）

障がい者の差別を解消し、合理的配慮を進めるため、関係機関と連携しながら、障がい者を理解してもらう取組を継続して行っていきます。

現行の障がい者スポーツ大会や障がい者芸術文化祭は、引き続き取り組むとともに、充実を図ります。

・ 障がい者福祉サービスの充実

（現状の問題点）

障がい者福祉サービスを利用する人、特に障がい児の利用者が増加していること等により、障がい者福祉費は年々増加し、財源の確保が懸念されます。

（今後の方向性）

持続可能な障がい福祉サービスの提供体制のためには、それぞれの障がい者に合ったサービスや既存の社会資源をコーディネートする一般相談や計画相談に関わる人を増やし、スキルアップを図る必要があります。特に児童に係る相談を受けられる人や場所が不足していることから、市の関係部署とも連携しながら充実を図ります。

施策6 生活困窮者への支援

生活困窮者が自立し安定した暮らしができるように、生活保護制度や生活困窮者自立支援制度などによる支援を推進します。

■ 主要事業の実績

生活保護受給者を対象とした就労支援事業において、ハローワークと連携した就職による経済的自立の実現、求職活動へのステップアップ、社会参加を促す職場体験といった対象者の状況に応じた支援を行いました。27年度に開始した生活困窮者自立支援制度において、「盛岡市くらしの相談支援室」による自立相談支援事業のほか、就労準備支援事業、学習支援事業など、生活困窮者に対し「第2のセーフティネット」として、生活保護に至る前の段階から支援を行いました。

また、庁内関係部局の相互の連携を図り、生活困窮者に対する効果的な支援を実施することを目的として、生活困窮者自立支援庁内連携会議を設置しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
生活保護事業	一般		生活困窮者への生活扶助費、住宅扶助費、教育扶助費、医療扶助費などの支給	7,614	7,392	0
生活困窮者自立支援事業	一般		生活困窮者の就労、住宅確保、学習等の支援及び自立に関する相談支援など	58	56	0
医療費給付事業（ひとり親家庭）	一般		ひとり親家庭等医療費給付	142	140	0
医療費給付事業（寡婦・寡夫）	一般		寡婦・寡夫医療費給付	60	61	0
公営住宅整備事業	一般		（仮称）青山二丁目アパートの建設、青山三丁目アパートの解体及び既存公営住宅の改修工事など	1,059	573	280
施策の計（一般会計）				8,932	8,221	280

・ 公営住宅整備事業

社会資本整備総合交付金の減額による計画していた工事の取り止め等により、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
生活保護受給世帯から自立した世帯の割合(死亡・移管・失踪などを除く)	↑	%	
生活困窮者の自立支援相談の解決率*	→	%	

* 27年度から新たに設定した指標です。生活困窮者自立支援法の施行(27年4月)に伴い実施する事業において実績を把握するため、当初値は表示していません。目標値については、類似事業の実績値を基に設定しています。

- 生活保護受給世帯から自立した世帯の割合／○ 順調に進捗

勤労収入の増加による保護廃止は、就労支援事業による就職の実現、生活福祉課に隣接した常設窓口「ハローワーク盛岡就労支援コーナー」の活用、経済情勢の好転による求人の増大などが要因と考えられます。

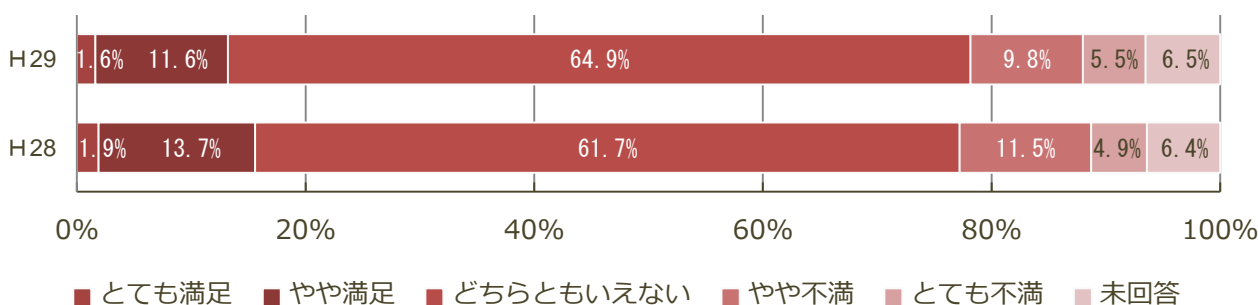
また、引き取り扶養など、他の自立要因による保護廃止も合わせて当初値よりも高い割合を維持しています。

- 生活困窮者の自立支援相談の解決率／◎ 非常に順調に進捗

就労準備支援事業において、一般就労が直ちに困難な者に段階的な支援を行っており、これにより就職、増収した者が21人おり、経済的自立の実現に成果を上げています。

■ 施策に対する市民の実感

「生活保護や医療助成などの生活の自立を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

- 生活困窮者の自立支援

(現状の問題点)

生活保護受給者に占める稼働年齢層（16歳～64歳）が減少傾向にあり、勤労収入の増加による保護廃止の件数を増やすことが厳しくなると想定されます。

「盛岡市くらしの相談支援室」においては、丁寧な支援を継続して行ってきた結果、スタッフの業務負担が過重になり、十分なアウトリーチが困難になってきています。

(今後の方向性)

生活保護受給者を対象とした就労支援事業については、引き続きハローワークと連携して事業の充実を図ります。

生活困窮者自立支援制度に基づく各事業については、庁内関係課や関係機関との連携により、効果的な支援を行います。また、生活困窮者のより多くの新規相談に対応し、かつ解決率を上げるため、家計に関する問題について助言・指導を行う家計改善支援事業の新規実施を検討します。

- 安定した生活の確保

(現状の問題点)

市営住宅の建替えやリフォームの実施により、良質な住宅への改善を図りましたが、市営住宅全体の入居率が上昇しておらず、ほぼ横ばいとなっています。

(今後の方向性)

市営住宅の空き住戸の修繕を効率的に実施し募集件数を増やすことにより、入居率の上昇に努めます。

施策7 人権尊重・男女共同参画の推進

お互いを理解しながら個人が尊重される社会を実現するため、人権尊重の精神と平和の尊さの意識啓発に取り組むとともに、男女が、均等に利益を享受し、責任も分かち合いながら、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画を推進します。

■ 主要事業の実績

原爆写真パネル展の開催により、多くの市民に戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、そして平和の尊さを啓発することができました。

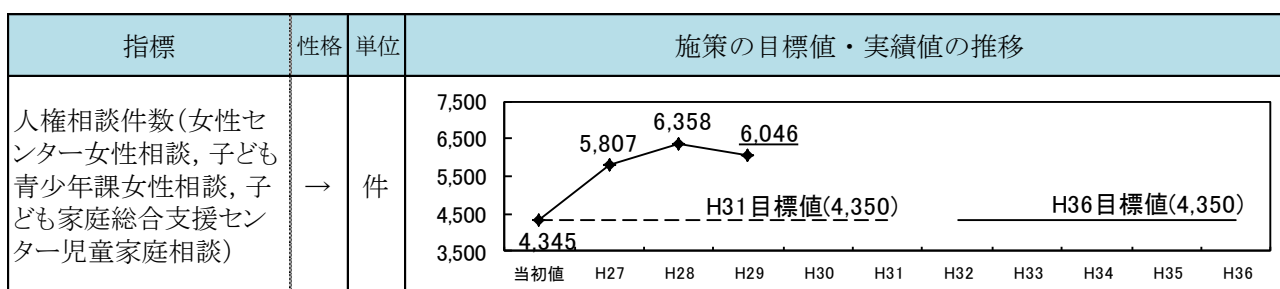
盛岡人権擁護委員協議会への運営補助金により、同協議会の円滑な運営が図られたほか、多くの市民に対し、各種人権啓発活動による人権擁護思想の普及や人権相談による人権擁護活動が行われました。

女性センターや市担当課での女性相談などにより、様々な問題を抱えた相談に対応し、主体的な問題解決を促進しながら、適切な助言や支援を行いました。同センターの「起業応援ルーム芽でるネット」により、起業や就労人数が増えており、着実に成果に結びついています。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
人権擁護事務	一般		人権の花運動、幼稚園・保育園での人権啓発事業、盛岡人権擁護委員協議会活動補助	1	1	0
男女共同参画意識啓発事業	一般		男女共同参画意識を高めるために、情報紙「あの・なはん」の作成や男女共同参画に資する人材を育成するための講座の開催など	1	1	0
配偶者等暴力防止事業	一般		DV相談、支援及び被害を予防するための啓発など	3	3	0
施策の計（一般会計）				4	4	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況



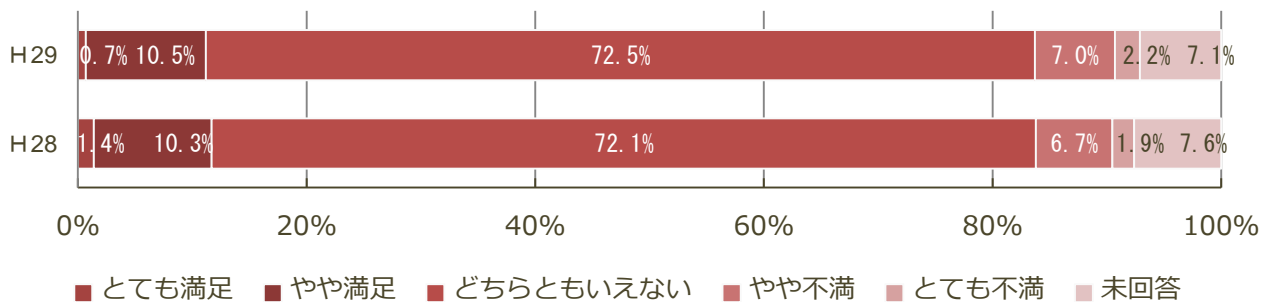
- ・ 人権相談件数（女性センター女性相談、子ども青少年課女性相談、子ども家庭総合支援センター児童家庭相談）／○ 順調に進捗

女性相談など人権に関する相談件数は、目標値を上回っている状況にありますが、新規相談件数が減少したこともあり、増加傾向から減少に転じました。

相談件数が高めに推移しているのは、市民への継続した意識啓発（街頭キャンペーンなど）による相談窓口の周知が進んだものと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「男女共同参画社会の推進や人権問題への取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 平和・人権啓発の推進

（現状の問題点）

終戦から既に70年以上が経過し、戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさに対する理解が風化してしまうおそれがあります。

まちづくり評価アンケート「人権擁護委員がいることを知っている」と答えた市民の割合が低く、人権擁護委員の活動への認知があまり広がっていません。

（今後の方向性）

日本非核宣言自治体協議会から資料提供を受けることにより、次世代へ向けた非核平和の啓発資料を充実させていきます。

人権擁護委員が行う各種啓発活動について、市の広報媒体を活用して積極的な周知を行うほか、人権擁護委員が行う人権相談事業について、市民が利用する商業施設等で開催するなど、人権擁護委員の活動の周知や認知度の向上を図ります。

・ 男女共同参画の推進

（現状の問題点）

女性の起業や就業支援事業の受講者からの講座内容等への要望が多様化しています。

審議会等への女性委員登用に向けた機運の醸成が図られていますが、登用率向上につながらないほか、女性人材バンク登録者数が減少しています。

DV防止について、街頭キャンペーンにより、市民への意識啓発につながっているが、一方で相談内容が複雑化しています。

（今後の方向性）

女性の経済的自立支援のための講座等を継続して実施し、多様化する受講者ニーズに対応しながら人材育成に取り組みます。

人材育成講座や男女共同参画に関する情報発信により、様々な分野への女性の参画を促します。

女性人材バンクへの新規登録のための情報収集を行うとともに、審議会等への女性委員登用に継続して取り組みます。

DV相談について、関係機関との連携した取組を進めます。

施策8 安全・安心な暮らしの確保

市民の安全・安心な暮らしを確保するため、自然災害や火災、健康被害など、あらゆる危機に対し強いまちを目指し、防災や防犯対策、消防力の充実などに取り組みます。

■ 主要事業の実績

河川整備等による危険箇所の解消を進めるとともに、土砂災害警戒区域等の指定に伴い、土砂災害ハザードマップの作成・配布済箇所が増えました。

防災訓練等や出前講座の実施し、防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織の結成促進に取り組み、結成率が向上しました。

新採用職員を対象とした消防団体験入団を継続したほか、「盛岡市学生消防団活動認証制度実施要綱」の策定など、消防団員の確保に努めました。

交通安全教室の開催、交通指導員による朝夕の街頭指導等の実施より、交通事故発生件数や事故死亡者数が減少しました。

空き家等の所有者等を対象とした相談会の開催や空き家等の所有者等に対する指導・助言を行い、空き家等の周辺の生活環境が改善されました。

積極的な啓発活動や事業所への立入検査を実施し、消費者の安全安心や市民の権利が確保されました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
急傾斜地崩壊対策事業	一般		繋地区の対策工事及び山岸地区の詳細設計	8	0	1
都市基盤河川改良事業	一般		一級河川南川の改修工事に係るJR東日本工事負担金	294	50	244
自主防災組織育成事業	一般		防災資機材等の交付、地域防災組織育成助成事業補助など	10	8	0
危機管理防災事業	一般		危機管理及び防災体制の構築・推進、危機管理指針の運用	16	17	0
防災施設整備事業	一般		避難場所標識整備、防災ラジオ及び避難所備蓄品（アルファ化米、生理用品）の購入など	43	10	25
盛岡地区広域消防組合負担金事務	一般		消防署等の運営、消防施設整備など	3,313	3,278	0
消防団管理事務	一般		消防団員報酬、出動手当、消防団装備購入など	189	186	0
消防施設整備事業	一般		消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ付積載車の更新、消防屯所の地質調査・設計など	65	60	0
交通安全教育事業	一般		交通安全教室の開催	10	9	0
交通指導員活動事業	一般		交通指導員活動（行事、登下校時等における街頭指導）	44	47	0
防犯活動事業	一般		市防犯協会事業費助成、防犯活動支援	6	6	0
空き家等対策推進事業	一般		空き家等の相談受付、現地確認、周辺環境に悪影響を及ぼしている空き家等の所有者に対する適正管理に係る助言、空き家バンク物件購入者への改修費補助	15	10	0
消費者行政推進事業	一般		消費生活相談、多重債務者対策、食品に係る放射性物質の検査など	40	41	0
施策の計（一般会計）				4,054	3,722	271

- ・ 急傾斜地崩壊対策事業
岩手県事業費の減額に伴い、実績額が小さくなりました。
- ・ 空き家等対策推進事業
行政代執行委託料及び空き家改修事業補助金の減額により、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																					
まちづくり評価アンケート調査「避難場所を知っている」と答えた市民の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>避難場所を知っている市民の割合</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>69.0</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>72.7</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>76.2</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>76.2</td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td>75.0</td></tr> <tr><td>H36</td><td></td><td>80.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	69.0		H27	72.7		H28	76.2		H29	76.2		H31		75.0	H36		80.0
年度	実績値	目標値																						
当初値	69.0																							
H27	72.7																							
H28	76.2																							
H29	76.2																							
H31		75.0																						
H36		80.0																						
まちづくり評価アンケート調査「防災対策をしている」と答えた市民の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>防災対策をしている市民の割合</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>60.7</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>57.9</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>62.1</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>54.4</td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td>70.0</td></tr> <tr><td>H36</td><td></td><td>80.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	60.7		H27	57.9		H28	62.1		H29	54.4		H31		70.0	H36		80.0
年度	実績値	目標値																						
当初値	60.7																							
H27	57.9																							
H28	62.1																							
H29	54.4																							
H31		70.0																						
H36		80.0																						
人口1万人当たりの火災発生件数	→	件	<table border="1"> <caption>人口1万人当たりの火災発生件数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>1.7</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>1.6</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>1.5</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>1.4</td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td>1.7</td></tr> <tr><td>H36</td><td></td><td>1.7</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	1.7		H27	1.6		H28	1.5		H29	1.4		H31		1.7	H36		1.7
年度	実績値	目標値																						
当初値	1.7																							
H27	1.6																							
H28	1.5																							
H29	1.4																							
H31		1.7																						
H36		1.7																						
人口1万人当たりの刑法犯発生件数	→	件	<table border="1"> <caption>人口1万人当たりの刑法犯発生件数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>68.4</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>57.6</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>51.2</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>43.6</td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td>68.4</td></tr> <tr><td>H36</td><td></td><td>68.4</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	68.4		H27	57.6		H28	51.2		H29	43.6		H31		68.4	H36		68.4
年度	実績値	目標値																						
当初値	68.4																							
H27	57.6																							
H28	51.2																							
H29	43.6																							
H31		68.4																						
H36		68.4																						
不適正な管理状態にある空き家等の相談件数	↗	件	<table border="1"> <caption>不適正な管理状態にある空き家等の相談件数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>60</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>178</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>139</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>122</td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td>85</td></tr> <tr><td>H36</td><td></td><td>85</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	60		H27	178		H28	139		H29	122		H31		85	H36		85
年度	実績値	目標値																						
当初値	60																							
H27	178																							
H28	139																							
H29	122																							
H31		85																						
H36		85																						
消費生活相談の解決率（解決した件数／消費生活相談件数）	↗	%	<table border="1"> <caption>消費生活相談の解決率</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>98.5</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>98.8</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>98.9</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>98.4</td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td>99.0</td></tr> <tr><td>H36</td><td></td><td>99.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	98.5		H27	98.8		H28	98.9		H29	98.4		H31		99.0	H36		99.0
年度	実績値	目標値																						
当初値	98.5																							
H27	98.8																							
H28	98.9																							
H29	98.4																							
H31		99.0																						
H36		99.0																						

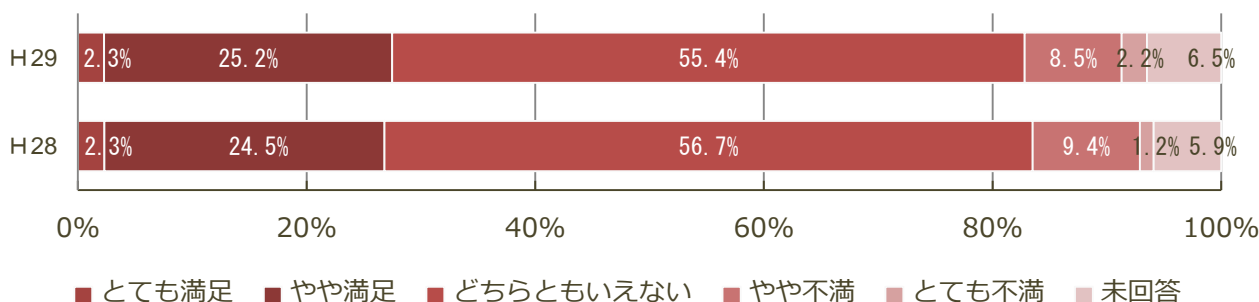
- ・ 「避難場所を知っている」と答えた市民の割合／◎ 非常に順調に進捗
町内会等を対象とした出前講座の実施や、自主防災組織等を中心とする地域での防災・減災の取組が普及してきたことにより、避難場所等の認知度が目標値を上回っているものと考えられます。
- ・ 「防災対策をしている」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている
町内会等を対象とした出前講座の実施などにより、防災意識の向上を図っているが、東日本大震災後間もない時期の緊張感が徐々に薄れ、徐々に風化していることが、低迷の要因のひとつと考えられます。
- ・ 人口1万人当たりの火災発生件数／◎ 非常に順調に進捗

- ・ 人口1万人当たりの刑法犯発生件数／◎ 非常に順調に進捗
- ・ 不適正な管理状態にある空き家等の相談件数／○ 順調に進捗
- ・ 消費生活相談の解決率（解決した件数／消費生活相談件数）／○ 順調に進捗

消費生活相談の解決率は、31年度の目標値を下回っているものの、概ね目標値で推移しており、出前講座の実施などの積極的な啓発活動が、消費者の自立につながってきているものと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「安全・安心な暮らしを確保するための防災対策や防犯，交通安全，消費者相談などの取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

- ・ 危険箇所の解消

（現状の問題点）

急傾斜地崩壊対策事業についても進められ、土砂災害ハザードマップの作成配布が41箇所増加しましたが、中には、事業の進捗が図られない箇所もあります。

（今後の方向性）

準用河川の効率的な整備を図るため、計画的に設計を実施するとともに、河川台帳についても整備を進めます。

都市基盤河川事業や急傾斜地崩壊対策事業の進捗させるため、引き続き、国、県への要望を行います。

- ・ 地域防災力の強化

（現状の問題点）

地域の避難場所等の周知が図られてきている一方、知らない人もまだ約 1/4いる状況です。

防災対策をしている人が60%程度で推移しているほか、防災訓練参加者数は減少傾向にあります。

（今後の方向性）

全世帯に配布する「防災マップ」の使い方説明会を地域ごとに実施し、災害リスクや避難について知識を高めます。

地域住民が主体となり、実情に即した地域の防災計画の作成を推進します。

企業向けの防災講座プログラム等を作成し、希望する企業等に講座を実施します。

- ・ 消防・救急の充実

（現状の問題点）

消防団装備の充実など活動環境や待遇改善等により団員数の増加を図っていますが、団員数の減少や高齢化が進んでいます。

水利整備は、消火栓は計画的に進捗していますが、準市街地の防火水槽の設置が進んでいません。

（今後の方向性）

消防団の活動環境改善のため、被服等の貸与に関する要綱を定めます。

水利設備の整備，救命講習等を継続し強化します。

- ・ **交通安全の推進**

- (現状の問題点)

- 高齢化の進展により，高齢者人口や高齢の運転免許保有者数が増加していることで，高齢者が関係する交通事故の割合が高くなっています。

- (今後の方向性)

- 高齢者の交通安全啓発について，歩行者に加え，高齢車両運転者に対する啓発活動を警察等交通安全関係団体と連携の上，実施します。

- ・ **防犯対策の推進**

- (現状の問題点)

- 防犯パトロールなど人による防犯活動には時間の制限があるため，防犯カメラによる24時間監視等が求められています。

- (今後の方向性)

- 防犯パトロールが十分に行われない場所について，防犯カメラ設置により補完する必要があることから，町内会等地域が設置する防犯カメラについて，設置費用の支援を行います。

- ・ **空き家等対策の推進**

- (現状の問題点)

- 問題がある空き家等の中には，管理方法が分からない，相談相手がいない等の理由により所有者の対応が遅れるケースがあります。

- (今後の方向性)

- 空き家・空き地の売却，賃貸，相続などに関する専門家による相談会を実施します。

- ・ **消費者の自立支援**

- (現状の問題点)

- 消費者をめぐる社会状況（成人年齢引下げに伴う若年層への啓発など）に応じた新たな施策・事業を推進するため，事業費確保（特にも人件費，研修費）及び組織の充実が必須です。

- (今後の方向性)

- 消費者をめぐる社会状況に応じた新たな施策・事業の推進については，事業のスクラップ&ビルドを検討し，限られた財源の中で職員の能力・組織の充実を図り，また，先進地の事例を参考にすることで，さらに市民の消費生活の自立を目指します。

施策9 地域コミュニティの維持・活性化

地域コミュニティがこれまで担ってきた多岐にわたる役割を維持し、活動を活性化するため、地縁又は目的を共にする団体などへの支援に取り組みます。

■ 主要事業の実績

町内会の負担軽減を目的に、町内会・自治会協働推進奨励金制度を実施しました。

町内会の所有・管理する街路灯のリース契約によるLED灯具への交換工事に取り組みました。

コミュニティ推進地区組織の活動促進に向けて、コミュニティリーダー研修会及び人材養成講座など地域課題の解決につながる情報提供及び情報交換を行いました。

市職員が地域の身近な窓口の一つとなり、地域活動における支援の充実を図るために、地域担当職員制度を実施し、行政と地域活動が連携できるよう取り組みました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地区行政事務	一般		町内会、自治会活動に対する協働推進奨励金交付など	79	78	0
コミュニティ推進事業	一般		30のコミュニティ推進地区に対する活動費助成、相談受付及び情報提供など	26	10	0
公衆街路灯関連事業	一般		町内会などに対する公衆街路灯のLEDリース料、電気料及び設置費補助	93	96	0
地域協働推進事業	一般		地域づくり計画に基づく事業に対して事業費を補助	13	12	0
施策の計（一般会計）				212	195	0

・ コミュニティ推進事業

当初予算で採択を見込んでいたコミュニティセンター助成事業が、岩手県において不採択となったこと等により、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「この1年間に地域のコミュニティ活動に参加したことがある」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 46.5 H27 46.7 H28 43.8 H29 46.9 H31目標値(51.5) H36目標値(56.5)</p>

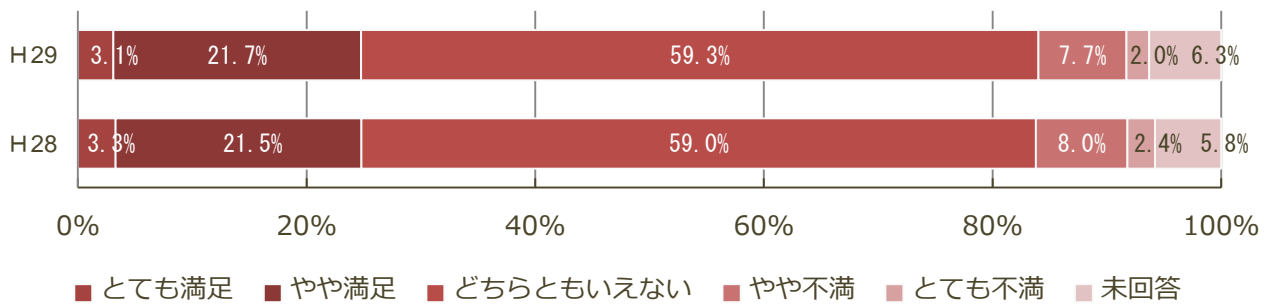
・ 「この1年間に地域のコミュニティ活動に参加したことがある」と答えた市民の割合／○ 順調に進捗

28年度と比較し増加していますが、これは、少子高齢化や雇用期間の延長、共働き世代の増加など、コミュニティ活動に参加する市民が減少する傾向にある中で、町内会活動に対する負担軽減の取組や市民活動における人材の育成に向けた取組により、各種活動団体の活動促進を図ることができたことによるものと考えられます。

引き続きコミュニティ活動団体の持続的な活動の維持に向けた支援に取り組むとともに、更なる活動促進に向けた検証を行います。

■ 施策に対する市民の実感

「町内会などの地域活動を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ コミュニティ活動の支援

（現状の問題点）

盛岡市町内会・自治会協働推進奨励金制度において、町内会活動を行うにあたり、世帯数が少ないなどの理由などから、町内会活動が低調な町内会等があります。

コミュニティリーダー研修会及び人材養成講座の参加者数が減少しています。

（今後の方向性）

盛岡市町内会・自治会協働推進奨励金制度について、制度内容の検証を行うとともに、見直しについても検討します。

コミュニティリーダー研修会及び人材養成講座について、今後とも地域活動に参加している市民のニーズを的確に捉えた内容等にするとともに、実施時期等について検証し、より多くの市民の参加に努めます。

施策10 生活環境の保全

大気汚染、水質汚濁、騒音などの監視の継続や廃棄物の適正処理などを図り、良好で快適な生活環境の保全に取り組みます。

■ 主要事業の実績

廃棄物処理施設について、老朽化に対応した維持管理により適正処理に務めました。

クリーンセンターにおいては、公害防止対策協議会及び公害監視委員会からの指導助言等をいただきながら、焼却処理を行い、排ガス基準値遵守継続日数が2,700日を越え、地域住民との公害防止協定を継続して守ることができました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
クリーンセンター設備改修事業	一般		焼却施設改修工事などの施設整備	300	284	0
公害防止対策事業	一般		大気、水質、騒音、振動などの測定、監視	22	21	0
施策の計（一般会計）				323	306	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「清潔で衛生的、公害がないといった点で、きれいなまちだと思う」と答えた市民の割合	↗	%	
焼却処理施設での年間処理量*	↘	t	

* 盛岡市一般廃棄物処理基本計画の改訂にあわせ、平成28年度に目標値を変更しています。

- 「清潔で衛生的、公害がないといった点で、きれいなまちだと思う」と答えた市民の割合

／△ 遅れが生じている

もう一つの指標「焼却処理施設での年間処理量」については順調に進捗しているが、アンケート結果としては27年度以降減少に転じている状況です。縮小した事業はなく、原因は把握できていません。

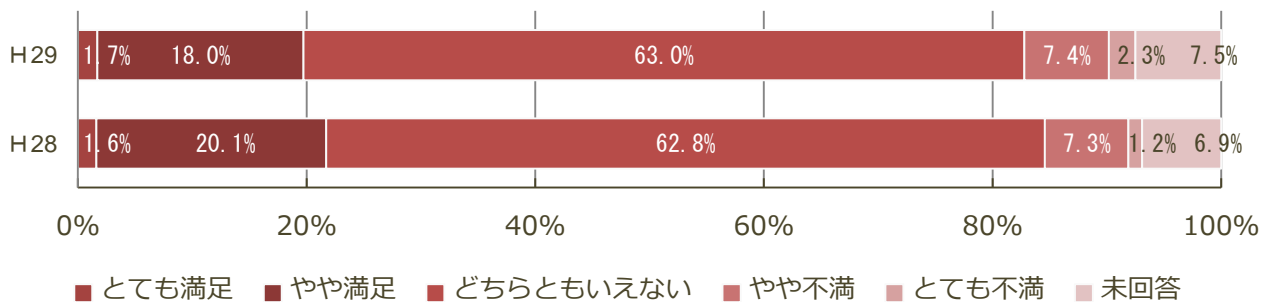
市民の認識が表れる指標であり、認識への影響が大きいと思われる取組などについて、市民意見を伺うとともに、情報提供の仕方も含めて、対応方法の検討が必要と考えます。

- 焼却処理施設での年間処理量／◎ 非常に順調に進捗

ごみ減量及び資源化に向けた各種取組により、焼却処理されるごみが減少し、31年度目標値を達成しました。今後も重点的に取組を推進します。

■ 施策に対する市民の実感

「身近な生活環境が保全されている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 環境衛生の確保

（現状の問題点）

クリーンセンターは、工場の稼動開始から19年が経過しており、従来どおり計画的な改修工事が必要です。

（今後の方向性）

盛岡地域の塵芥収集運搬業務について、地区別収集体制に移行し、すべてのコミュニティ地区ごとの排出量、組成分析データによりごみ減量施策を推進します。

クリーンセンターについては、県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想の進捗と連携した改修工事計画を総合計画事業に位置付け、計画的に実施します。

・ 公害の防止

（現状の問題点）

大気及び水質については概ね良好な状況にありますが、一部環境基準の超過が見られ、騒音についても前年度から実績値が低下しているなど、改善の余地があります。

（今後の方向性）

大気については、PM2.5の成分分析に係る県、中核市等の取組状況の調査研究を継続していきます。水質、騒音等その他の環境項目についても環境測定を継続し、原因の分析を行うとともに、事業者の指導や市民への周知を行うことにより改善を図ります。

基本目標 2 盛岡の魅力があふれるまちづくり

施策11 歴史・文化の継承

地域に受け継がれている歴史や文化に誇りを持ち、次世代に伝えていくため、文化財の保護に取り組むとともに、市民が歴史や文化に理解を深め、身近に感じることができるよう、文化財の幅広い活用を図ります。

■ 主要事業の実績

文化財の保護と活用については、青少年郷土芸能フェスティバルやリーダー育成研修会の開催を支援し、無形民俗芸能保持団体の一部では後継者が増加しました。また、志波城古代公園では、イベントや施設案内・周知の充実を図り、来園者が増加したほか、埋蔵文化財については、適切な調査・記録と保存・展示を行いました。

博物館等施設の整備・充実については、各館とも事業の企画や案内周知に積極的に取り組み、9施設中、4施設で入館者数が前年度に比べ10%以上の増加となりました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
盛岡城跡保存整備事業	一般		石垣変位調査, 石垣基礎調査など	2	2	0
志波城跡保存整備事業	一般		用地取得, 保存活用計画策定など	42	40	0
遺跡の広場整備事業	一般	★	遺跡環境保全, 整備	1	1	0
玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館整備事業	一般	★	基本計画策定	8	8	0
施策の計 (一般会計)				53	50	0

■ まちづくり指標 (成果指標) の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
文化財数(国・県・市指定)	↗	件	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
まちづくり評価アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	↘	%	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>

- 文化財数 (国・県・市指定) /○ 順調に進捗

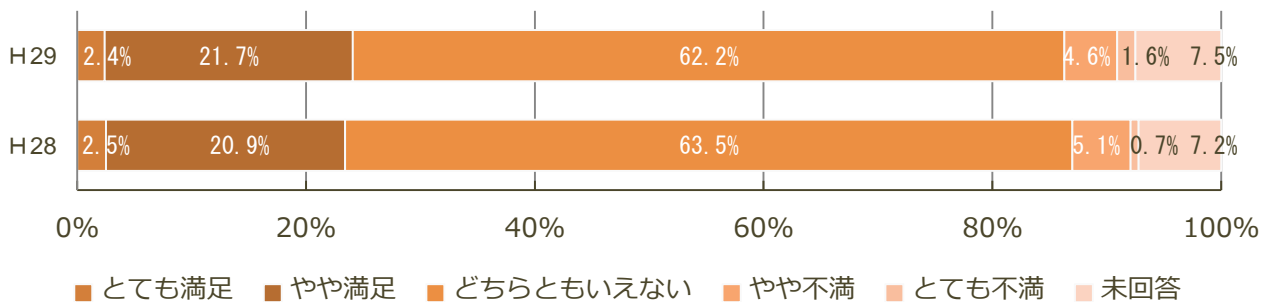
指定の文化財数は、前年度に比べ1件増加しました。既に指定となっている文化財等は存続できました。

- 「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合減少 /△ 遅れが生じている

盛岡の歴史・文化財に興味関心を持ち積極的に活動する市民と、歴史・文化財に触れる機会の少ない市民の二極化が進んでいるものと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「文化財の保護や活用が図られている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 文化財の保護と活用

（現状の問題点）

一部の無形民俗芸能保持団体では後継者が増加したが、後継者不足に直面している団体も多いことから、団体の特性に応じた対策が必要となっています。

保存建造物は、計画的な改修が必要となっています。

有形の文化財等は、周辺の環境も含め、適切な保存・修繕が難しくなっているものがあります。

埋蔵文化財は、出土資料が増え続け、従来の施設には収まらなくなっています。

（今後の方向性）

無形民俗芸能保持団体の後継者不足については、盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会と連携しながら支援策を講じます。

保存建造物は、改修事業に係る財源の確保のため、国の補助制度の活用を図るほか、所有者に対し改修補助制度の周知を図ります。

有形文化財等の保存・修繕のため、必要な場合は、町内会等地元住民への協力要請を行うほか、「歴史的風致維持向上計画」を策定し、国による計画の認定制度、補助制度も活用しながら、文化財等の保護と活用に取り組みます。

埋蔵文化財の出土資料は、活用頻度によりランク分けを行い保管場所の再配置等の対策を講じます。

・ 博物館等施設の整備・充実

（現状の問題点）

博物館等9施設全体での入館者が、前年度比6%の減少となりました。

各施設とも施設・設備の老朽化が進み、修繕が必要な箇所が増え、対応が追いつかない状況となっています。

（今後の方向性）

各種企画展をはじめとする魅力的なイベントの開催のほか、各施設の情報案内・広報の強化を図るとともに、施設外へ出向く「出前講座」の充実に取り組みます。

施設や設備の修繕については、優先順位を検討し、計画的に対応していきます。

施策12 芸術文化の振興

誰もが芸術文化に親しみ、豊かな生活が送れるように、優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、市民の自主的、創造的な芸術文化活動を支援します。

■ 主要事業の実績

本市の芸術文化の振興を図るため、現状や課題、今後の基本的な方向性を示す「盛岡市芸術文化推進指針」を策定しました。

盛岡芸術協会が主催する盛岡芸術祭を共催し、市民のすぐれた芸術文化活動の成果を発表する機会と広く市民に鑑賞の機会を提供するための支援を行いました。

建設から15年以上経過し、設備が老朽化している文化会館の計画的な施設修繕や更新のため、舞台設備更新調査を実施することとし、29年度は盛岡劇場と都南文化会館を調査しました。

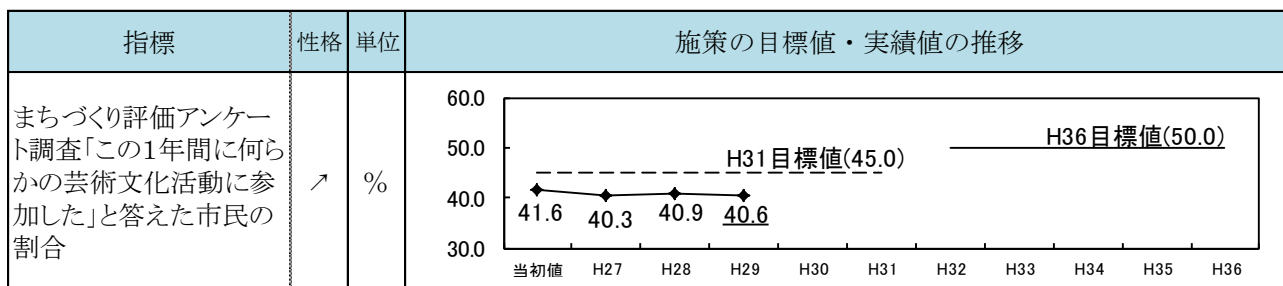
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
芸術文化活動振興事業	一般	★	芸術団体などが行う芸術文化活動の振興	3	9	0
文化会館活動事業	一般		パイプオルガン・演劇・合唱等関連講座の開催、舞台公演・美術展など芸術鑑賞機会の提供、情報誌の発行	27	27	0
施策の計（一般会計）				31	37	0

・ 芸術文化活動振興事業

当初計画していなかった深沢紅子野の花美術館の空調設備改修に係る経費に対して補助金を交付したことにより、実績額が大きくなりました。

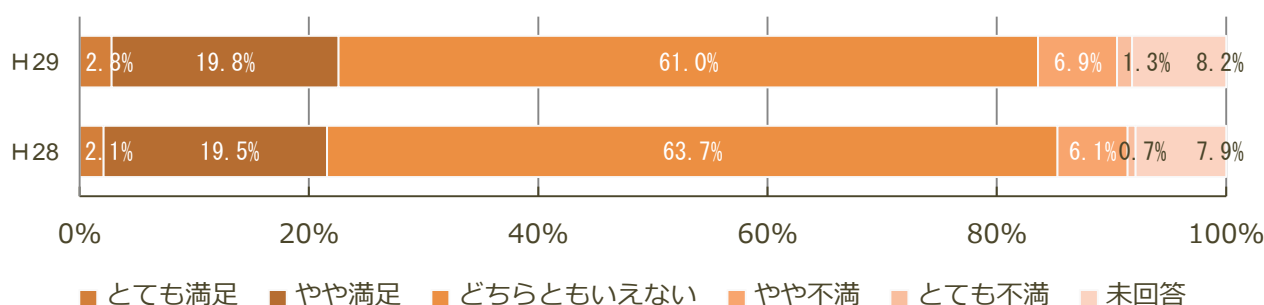
■ まちづくり指標（成果指標）の状況



- ・ 「この1年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合／○ 順調に進捗している

■ 施策に対する市民の実感

「芸術文化に親しむ機会が身近にある」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 芸術・文化活動の充実

（現状の問題点）

盛岡芸術祭の参加者数が減少しており，市民が芸術文化活動に参加する機会や鑑賞する機会を提供する必要があります。

芸術文化活動の振興を図るため，自主的な活動を促進する機会として，盛岡芸術祭を共催していますが，盛岡芸術協会の構成団体が減少及び高齢化しており，参加・出展者数が減少傾向にあります。

（今後の方向性）

芸術文化推進基本計画の策定を目指し，芸術文化団体等の自主的な芸術活動への支援策を検討します。

・ 文化施設の整備と活用

（現状の問題点）

舞台修繕調査により修繕箇所が把握されましたが，多額の費用がかかることが判明しています。

（今後の方向性）

舞台設備更新調査結果に基づき，緊急度が高い修繕について先行して着手しながら，同時に修繕計画を策定します。

施策13 スポーツの推進

誰もがスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができるように、スポーツをする環境やスポーツを支える環境づくりを進めるとともに、スポーツを通じたまちの魅力の創出などに取り組めます。

■ 主要事業の実績

すべての市民がスポーツに参画する機会の確保を目指し、スポーツ推進委員や（公財）盛岡市体育協会を中心とした各種競技団体、総合型地域スポーツクラブ等と連携しながら各種事業に取り組んでおり、事業参加者数の増加につながりました。

市民が継続してスポーツを楽しめるようアイスアリーナを総合アリーナへ通年型施設として改修整備するなど、利用環境の向上を図ることにより施設利用者数の増加につながりました。

スポーツツーリズムを推進するため、29年度にスポーツツーリズム推進室を設置し、29年3月に広域8市町で立ち上げた盛岡広域スポーツコミッション事業としてエイトオリンピックズプロジェクトやHPの立ち上げによる魅力発信等に取り組めました。また、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会のレガシーを承継し、東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるカナダ国とのホストタウン事業に取り組み、水球カナダとの事前キャンプの覚書を締結するとともに、ラグビーカナダの視察やスポーツクライミングの事前キャンプの受入れを行いました。

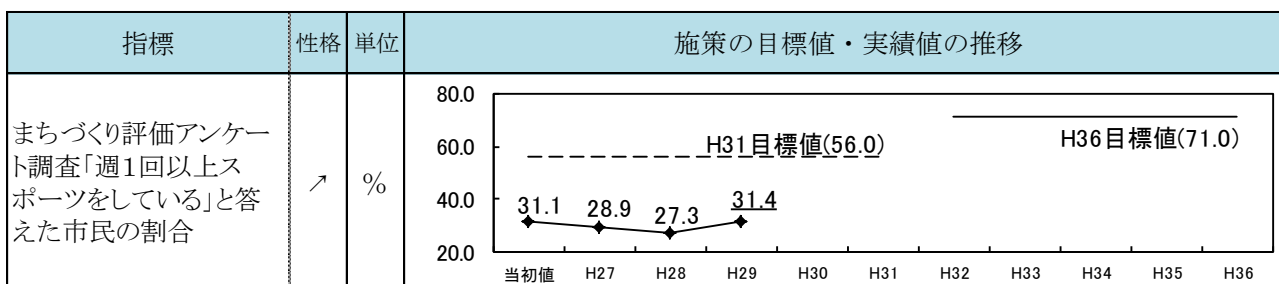
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
生涯スポーツ推進事業	一般	★	指導者養成, スポーツ教室開催, 体育団体育成, 学校体育施設開放事業, スポーツ大会開催支援, スポーツ・パル事業など	61	59	0
市民運動公園整備事業	一般	★	市民運動公園の整備(プール上屋修繕など)	52	53	0
都南東部体育館整備事業	一般		用地取得予定地の不動産鑑定評価	29	1	0
盛岡南公園野球場整備事業	一般		地質調査	8	6	0
盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業	一般		盛岡広域スポーツコミッションによる大会や合宿誘致, ラグビーワールドカップ事前キャンプ受入準備など	10	9	0
施策の計(一般会計)				160	127	0

・ 都南東部体育館整備事業

不動産鑑定評価後の地権者交渉が不調となり、当初予定していた用地取得以降の実施に至らなかったため、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標(成果指標)の状況

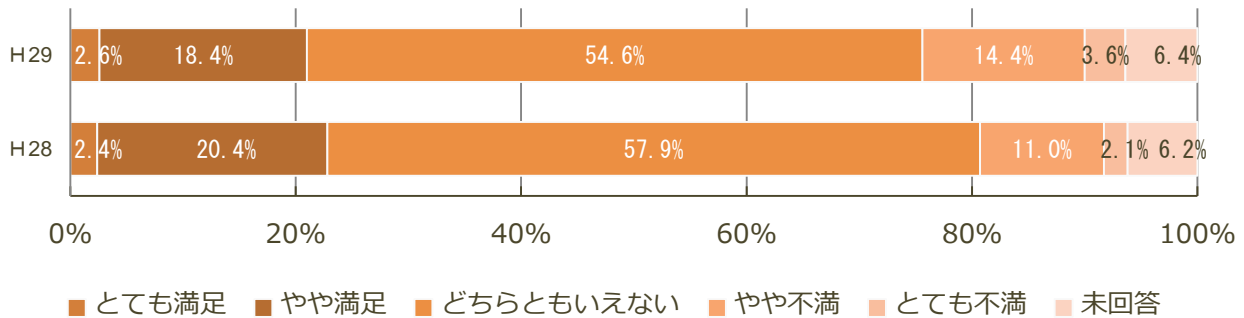


- ・ 「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合/△ 遅れが生じている

29年度に増加に転じている要因としては、28年度に行われた希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催により、より多くの市民が「する」「見る」「支える」といったいろいろな形でスポーツに関わったほか、国体開催により整備・新設した施設や通年型施設の整備により利用環境の向上が図られたことなどによるものと考えられます。全体的には31年度目標値と実績値の乖離が大きいことから、アスリート型スポーツだけでなく、健康寿命の延伸等も含む地道な取組が必要と考えています。

■ 施策に対する市民の実感

「スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会の確保や施設の整備が整っている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進

（現状の問題点）

事業参加者は、子供や高齢者が多い一方、働く世代が少ない傾向にあります。

（今後の方向性）

市や（公財）盛岡市体育協会を中心とした各種競技団体、総合型地域スポーツクラブ等が実施している各種スポーツ大会やスポーツ教室の周知を促進していきます。また、各種スポーツ団体と協議を行いながら、スポーツに親しむ機会が少ない人が気軽にスポーツに取り組めるよう努めます。

・ スポーツ施設の整備充実

（現状の問題点）

利用者が快適に利用できるよう、競技用具等の定期更新や施設修繕を計画的に行う必要があります。

（今後の方向性）

公共施設保有最適化・長寿命化計画の着実な推進を図ります。新たな施設整備について、関係団体（県）と連携しながら、整備計画に基づき着実に推進します。

・ スポーツ団体等との連携強化

（現状の問題点）

29年度、総合型地域スポーツクラブが1団体増えたところですが、目標値達成が難しい状況です。

（今後の方向性）

（公財）盛岡市体育協会や各競技団体、総合型地域スポーツクラブが各種教室や大会等を開催しやすくするため、連携を強化しながら情報提供を図ります。また、総合型地域スポーツクラブの活動状況について継続して周知を図っていくとともに、人材確保に努めます。

カナダを相手国とするホストタウン事業に引き続き積極的に取り組みます。

・ プロスポーツ等との連携

（現状の問題点）

プロチームのチーム会員数がJ・Bリーグともに減少傾向にあります。

（今後の方向性）

プロスポーツチームが自立した運営を行うことができるよう支援を継続していきます。

施策14 「盛岡ブランド」の展開

盛岡が住みたいまち、住んでみたいまち、訪ねてみたいまちとなるため、盛岡ならではの魅力や価値である「盛岡ブランド」を市民と共に磨き、育み、都市ブランド*の確立を目指します。

さらに、効果的に市内外に発信することにより「盛岡ブランド」を展開します。

*観光地や地場産業、文化・暮らしなどの個別のブランドにより生み出される都市の価値観やイメージのことです。

■ 主要事業の実績

小学校の総合学習で盛岡ブランドを取り上げ、子どもたちの郷土愛の醸成を図りました。

首都圏の若者世代を中心とした「対象者」に、盛岡の価値や魅力を伝えるプロモーション素材を作成し、それを活用したプロモーション活動を行いました。

地域おこし協力隊の活動により、東京でのPR活動や、SNSを活用した情報発信の仕掛け作り、ウェブへの記事の提供などを行いました。

首都圏や宮城県への転出者にアンケートを実施し、転出後の盛岡とのかかわり方についてニーズ調査を行いました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
盛岡ブランド確立事業	一般	★	スチール写真を中心としたプロモーション素材の制作、ブランドフォーラムの開催（共催）など	3	3	0
施策の計（一般会計）				3	3	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																					
まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>「盛岡が好き」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>78.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>77.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>78.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>76.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	78.0		H27	77.7		H28	78.5		H29	76.9		H31		80.0	H36		80.0
年度	実績値	目標値																						
当初値	78.0																							
H27	77.7																							
H28	78.5																							
H29	76.9																							
H31		80.0																						
H36		80.0																						
地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」	↗	位	<table border="1"> <caption>地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>63</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>117</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>62</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	58		H27	63		H28	117		H29	62		H31		50	H36		50
年度	実績値	目標値																						
当初値	58																							
H27	63																							
H28	117																							
H29	62																							
H31		50																						
H36		50																						
観光客入込数	↗	万人回	<table border="1"> <caption>観光客入込数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>472</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>509</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>520</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	472		H27	509		H28	500		H29	500		H31		500	H36		520
年度	実績値	目標値																						
当初値	472																							
H27	509																							
H28	500																							
H29	500																							
H31		500																						
H36		520																						

・ 「盛岡が好き」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

「好き」と回答する割合が、年齢別では男女とも10代から30代までで減少していることや、地区別では玉山地域で他地域に比べ少ない傾向にあることが数値低下の要因となっています。

また、盛岡ブランドフォーラムの来場者数の減少や、出前講座の要請が無いなど、活動が限定的で市民の関心を上げるまでに至っておらず、指標の引き上げに繋がっていません。

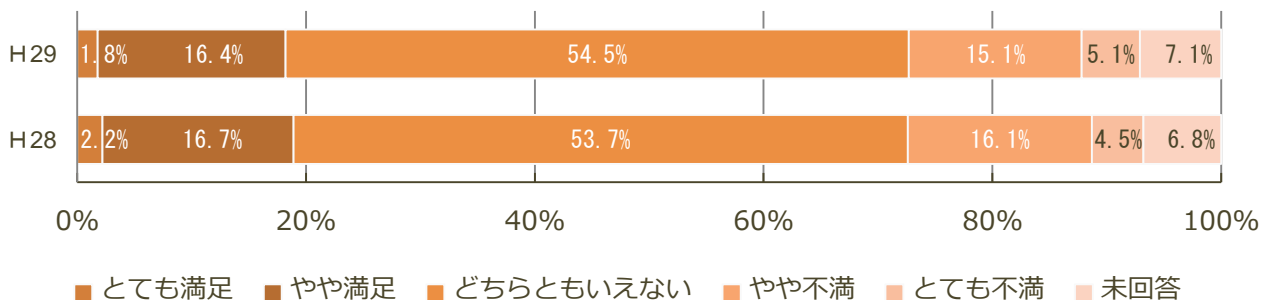
- ・ 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」／○ 順調に進捗

調査項目となっている魅力度と相関関係の強い、情報接触度の指標である「「旅系」や「ロコミ系」の情報接触」や、観光意欲度の指標である「観光などで盛岡を訪れる機会」の数値が向上しており、順位向上に寄与したものと考えられます。

- ・ 観光客入込数／◎ 非常に順調に進捗

■ 施策に対する市民の実感

「盛岡の価値や魅力を育み、市内外へ発信している」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

- ・ 市民・事業者との意識共有

（現状の問題点）

盛岡ブランドのブランドイメージに関する市民・事業者の意識共有が不足し、市民・事業者による自発的なブランド発信が十分ではありません。

（今後の方向性）

第2次盛岡ブランド推進計画の期間が31年度までとなっていることから、市民のシビックプライド醸成とシティプロモーションの考え方を整理し、新たな方針・戦略を検討します。

- ・ 情報発信の強化

（現状の問題点）

盛岡からの転出者や盛岡デーへの来訪者など、市外在住者のうち東京盛岡ふるさと会以外で盛岡と関わりがある人との連携が進んでいません。

（今後の方向性）

新たな情報発信の手法の試行や検証を通じて、市外において盛岡と関わりがある人と連携するための効果的な情報発信の手法を確立します。

首都圏で生活する盛岡出身者など盛岡に縁のある人を対象に絞り、関係人口の創出の機会を増やします。

施策15 良好な景観の形成

市民と共に、自然環境と歴史的環境とが調和した盛岡らしい魅力ある景観を保持するなど、良好な景観の形成を図ります。

■ 主要事業の実績

都市景観シンポジウム、都市景観賞などを通し市民への景観に対する意識の向上を図り、景観計画区域行為届の審査・指導により良好な景観形成となるよう誘導し、併せて景観計画の周知を行いました。

保存建造物、景観重要樹木等の維持保全を図り、市所有の保存建造物等を公開しました。

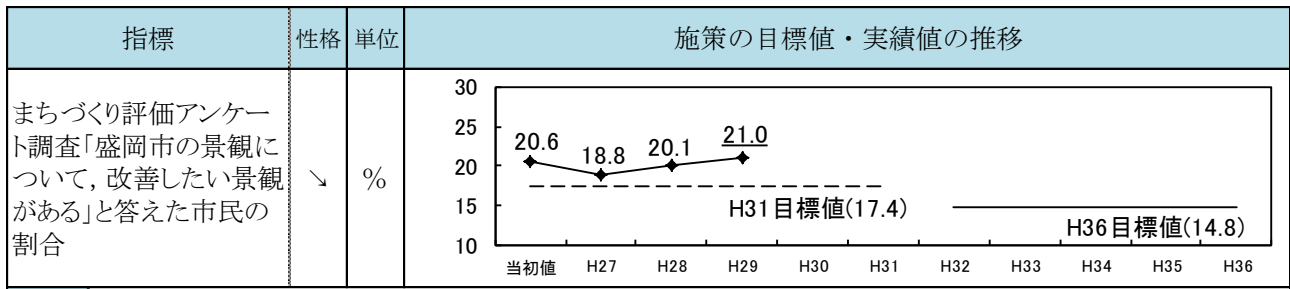
屋外広告物の許可により、景観計画との整合と公衆への危害防止を図りながら、官民が連携したタウンミーティングを開催することにより、屋外広告物制度の周知を図りました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
都市景観形成指導事業	一般	★	景観指導、都市景観シンポジウムの開催、都市景観賞の決定・表彰など	1	1	0
景観計画推進事業	一般		盛岡ふれあい覆馬場プラザ指定管理料、紺屋町番屋建物調査、武田邸庭園入口屋根修繕、保存建造物修復事業補助など	26	21	0
屋外広告物事務	一般		屋外広告物の許可、屋外広告物業の登録、簡易除却ボランティア活動の推進など	4	3	0
施策の計（一般会計）				30	25	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																					
まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>70.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>70.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>69.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>65.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>74.7</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>79.3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	70.1		H27	70.8		H28	69.7		H29	65.9		H31		74.7	H36		79.3
年度	実績値	目標値																						
当初値	70.1																							
H27	70.8																							
H28	69.7																							
H29	65.9																							
H31		74.7																						
H36		79.3																						
まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園や丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園や丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>59.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>59.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>52.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>52.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>69.4</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>79.3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	59.6		H27	59.6		H28	52.3		H29	52.3		H31		69.4	H36		79.3
年度	実績値	目標値																						
当初値	59.6																							
H27	59.6																							
H28	52.3																							
H29	52.3																							
H31		69.4																						
H36		79.3																						
まちづくり評価アンケート調査「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>69.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>71.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>66.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>65.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>74.6</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>79.3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	69.9		H27	71.1		H28	66.6		H29	65.3		H31		74.6	H36		79.3
年度	実績値	目標値																						
当初値	69.9																							
H27	71.1																							
H28	66.6																							
H29	65.3																							
H31		74.6																						
H36		79.3																						
まちづくり評価アンケート調査「屋外広告物(屋外に表示・設置されているはり紙や看板など)は、景観に配慮して表示・設置されていると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「屋外広告物(屋外に表示・設置されているはり紙や看板など)は、景観に配慮して表示・設置されていると思う」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>28.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>28.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>26.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>26.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>31.1</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>33.6</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	28.1		H27	28.8		H28	26.8		H29	26.2		H31		31.1	H36		33.6
年度	実績値	目標値																						
当初値	28.1																							
H27	28.8																							
H28	26.8																							
H29	26.2																							
H31		31.1																						
H36		33.6																						



- 「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

建設費用の高騰などを背景に特徴的なデザインを取り入れるのではなく、画一的な建物の建設が増える傾向が見られることも、誇れる市街地の景観があるとの評価につながらない一因と考えられます。
- 「誇れる田園や丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

田園・丘陵地は新たな建造物等が建設されることが抑制される地域ですが、建設可能な新たな建造物等が建設される際においても景観に配慮するよう誘導しながら、今ある景観の維持、保全を図ることが必要と考えます。
- 「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

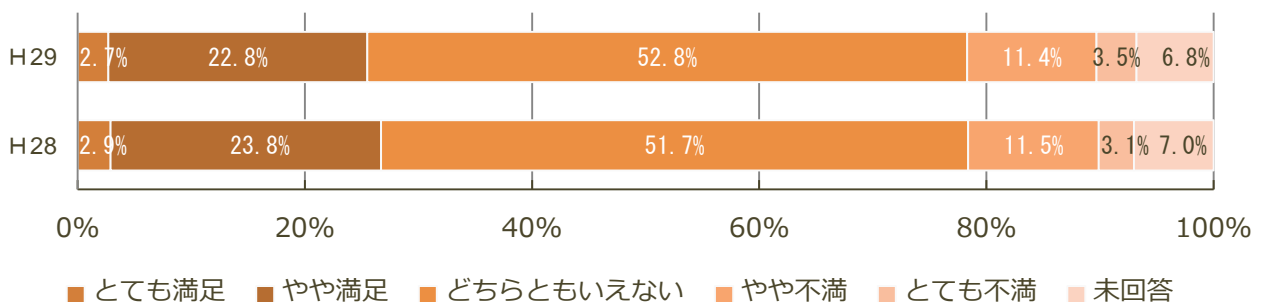
山間地は新たな建造物等が建設されることが抑制される地域ですが、建設可能な新たな建造物等が建設される際においても景観に配慮するよう誘導しながら、今ある景観の維持、保全を図ることが必要と考えます。
- 「屋外広告物は、景観に配慮して表示・設置されていると思う」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

官民が連携したタウンミーティングの開催により屋外広告物の制度の周知を行いました。まだ制度が広く浸透しているとはいえない状況であり、さらに屋外広告物の制度の周知を徹底し、適正な屋外広告物の設置を進める必要があります。
- 「盛岡市の景観について、改善したい景観がある」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

改善したい景観が市街地、田園丘陵地、山間地のいずれであるかを把握する必要がありますが、市街地においては景観に対する配慮が不足している建設等や、保存建造物等の老朽化による汚れ等により、次世代に継承すべき魅力ある盛岡固有の景観が失われつつあることも一因と考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「盛岡らしい景観が形成されている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 景観保存対策の充実

（現状の問題点）

歴史的街並み整備事業の申請がなく、歴史的街並みの修景の進捗が遅れています。
保存建造物の改修が進まず老朽化が進んでいます。

（今後の方向性）

景観重要樹木について、よりいっそうの樹勢診断等の活用を図り、枯渇のないよう維持保全に努めます。

歴史的街並み整備事業の周知を図り、鉾屋町の歴史的街並みの修景を進めます。
市所有の保存建造物の維持保全のため、計画的な改修を図ります。

・ 良好な景観形成の誘導

（現状の問題点）

屋外広告物制度の周知のため、官民が連携したタウンミーティングの開催等を行っていますが、広く浸透しているとはいえない状況です。

（今後の方向性）

盛岡らしい都市景観となるよう景観計画を見直し、都市景観シンポジウム、都市景観賞の内容の充実を図ります。

屋外広告物の制度の周知の方法を検討し、屋外広告物の適正化に継続的に取り組みます。

施策16 計画的な土地利用の推進

地域の特性をいかし、機能的で魅力的な都市を形成するため、自然環境の保全と人々の営みとの調和を考慮しながら、コンパクトで効率的な市街地を形成するなど、計画的で適正な土地利用を推進します。

■ 主要事業の実績

都市計画法に基づく区域区分等の見直しに向けた都市計画基礎調査や開発許可制度、国土利用計画法に基づく土地取引事後届出制度、国土調査法に基づく地籍調査などにより、国土利用計画盛岡市計画や都市計画マスタープランに基づく適正な土地利用が図られました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
都市計画区域区分変更事業	一般		都市計画基礎調査システムデータ更新	1	1	0
開発許可事務事業	一般		都市計画法に基づく開発・建築の許可事務、大規模盛土造成地の把握と安全性の確認	5	6	0
施策の計（一般会計）				6	7	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
都市として計画的に整備し、開発し、保全する必要がある区域を指定する割合 (市域における都市計画区域の割合 ^{*1})	→	%	<p>当初値 50.3 H27 50.3 H28 50.3 H29 50.3 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(50.3) H36目標値(50.3)</p>
農用地として保全し土地利用する割合 (市域における農用地区域の割合 ^{*2})	→	%	<p>当初値 8.4 H27 8.5 H28 8.5 H29 8.5 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(8.4) H36目標値(8.4)</p>
森林として保全し土地利用する割合 (市域における森林区域の割合)	→	%	<p>当初値 73.2 H27 73.2 H28 73.2 H29 73.2 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(73.2) H36目標値(73.2)</p>

*1 都市計画区域内の市街化調整区域と農用地区域、森林区域とが重複している区域があるため、3区域の割合の合計は100.0%を超えます。

*2 「農用地として保全し土地利用する割合」の当初値は、26年度の速報値としています。

・ 市域における都市計画区域の割合／◎ 非常に順調に進捗

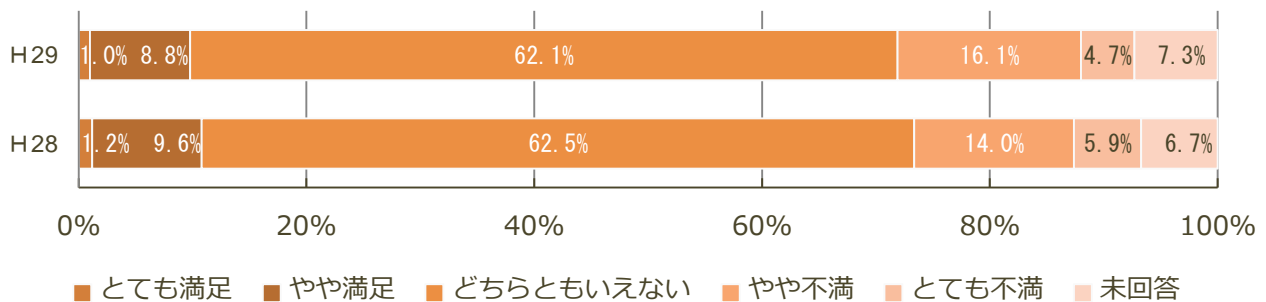
関連する上位計画や制度等の適切な運用及び関係施策や計画における相互連携による調整を行ったことから、目標に即した整備、開発、保全の方針が適正に図られています。

・ 市域における農用地区域の割合／◎ 非常に順調に進捗

・ 市域における森林区域の割合／◎ 非常に順調に進捗

■ 施策に対する市民の実感

「地域の特性を生かした土地利用の計画、管理などが行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 土地利用に関する計画の策定・見直し

（現状の問題点）

将来における都市部及び農村部の生活サービス、コミュニティ、社会資本の衰退が懸念されます。将来における森林資源の保全維持管理の継続が必要となっています。

（今後の方向性）

人口減少、少子高齢化等の社会構造の変化に対応したコンパクトで持続可能なまちづくりに資するため立地適正化計画の策定を進めます。

農用地や森林を生産機能の場として、また、豊かな自然景観や水源涵養資源として、保全・活用するよう市街地の集約化と相乗効果が得られるような総合的で計画的な土地利用を進めます。

・ 土地利用の管理・指導

（現状の問題点）

開発許可及び建築許可の件数が多く、相談内容が多岐に及び時間を要するため相談者の待ち時間が増えています。

審査基準の緩和に関する相談や調査、資料収集が必要で、複雑な相談内容への対応に時間を要しています。

（今後の方向性）

より効率的な窓口対応を図るため、説明資料等の工夫等を検討します。

市街化調整区域における開発許可基準については、地域の実情等に応じ、継続してその見直しについて検討していきます。

基本目標3 人を育み未来につなぐまちづくり

施策17 子どもの教育の充実

子ども一人ひとりの個性をいかし、学力を定着させ、生きる力を育むことができるように、学校や家庭、地域などが連携しながら、子どもの教育の充実と健全な育成を図ります。

■ 主要事業の実績

教員の指導力向上のための取組を行い、児童生徒の学力向上を図るとともに、道徳教育・先人教育の充実などにより、豊かな心の育成を進めました。

また、スクールアシスタントや不登校生徒等対策相談員を配置し、個別に配慮が必要な児童生徒への支援に取り組みました。

学校施設については、プール改修工事、校舎増築工事等を行ったほか、適切な維持保全に努めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
教育振興事業（小学校・中学校）	一般		児童生徒の学力検査，知能検査の実施，小学校社会科副読本「わたしたちの盛岡」の印刷など	8	8	0
先人教育推進事業	一般		先人カレンダーの作成など	1	1	0
生徒指導強化推進事業	一般		スクールアシスタント，不登校生徒等対策相談員の各小中学校への配置，スクールガードリーダーの委嘱など	51	51	0
教育活動推進事業	一般		少人数指導非常勤講師2名の配置，学校司書10名の配置など	11	11	0
小学校整備事業	一般		仁王（校舎大規模改修基本設計），大新（校舎大規模改修基本設計），緑が丘（屋内運動場大規模改修実施設計）	36	24	377
中学校整備事業	一般	(★)	巻堀（仮設校舎解体，外構工事），仙北（校舎増築），城西（校舎大規模改修基本設計），厨川（屋内運動場大規模改修実施設計）	394	389	364
学校プール整備事業*	一般		大宮中・黒石野中（耐震改修）	0	0	0
小中学校施設防災対策事業	一般	(★)	上田中・飯岡中・北松園中（屋内運動場等非構造部材地震対策工事設計），城西中（屋内運動場解体等工事，プール授業バス輸送）	42	37	75
（仮称）盛岡学校給食センター建設事業	一般		用地測量，埋蔵文化財調査など	10	5	0
施策の計（一般会計）				552	525	816

* 国の補正予算を活用し，平成28年度に前倒して実施しています(29年度への繰越も含め，28年度実績として整理しています)。

・ 小学校整備事業，中学校整備事業，小中学施設防災対策事業

国庫補助に合わせて，30年度に予定していた事業の前倒し補正を行ったため，実績額（翌年度繰越額を含む）が大きくなりました。

・ （仮称）盛岡学校給食センター建設事業

埋蔵文化財調査について，試掘調査の結果を基に掘削調査箇所を限定し全体面積を縮小する変更を行ったこと及び用地測量調査について，並行進行している道路整備事業との調整を行い，対象用地を減じたことにより，実績額が小さくなりました。

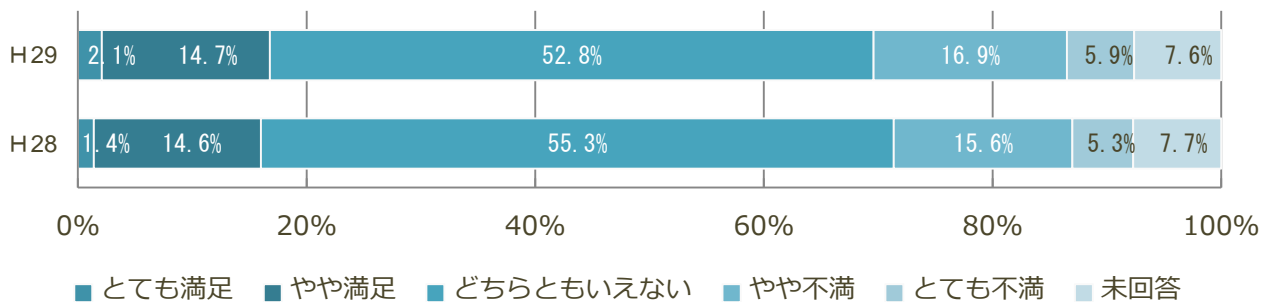
■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移	
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生】	↗	ポイント		
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生】	↗	ポイント		
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生】	↗	ポイント		
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生】	↗	ポイント		

- ・ 小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【小学校4年生：国語】／○ 順調に進捗
- ・ 小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【小学校4年生：算数】／○ 順調に進捗
- ・ 小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【中学校2年生：国語】／△ 遅れが生じている
要点の読み取りなど、文章の重要な言葉を読み取る力が十分でないと考えられます。
- ・ 小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【中学校2年生：数学】／○ 順調に進捗
- ・ 小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【中学校2年生：英語】／△ 遅れが生じている
文法を理解して活用する力など、文章の重要な言葉を読み取る力が十分でないと考えられます。
- ・ 体力運動能力調査の全国水準（100）との比較【小学校5年生：男】／△ 遅れが生じている
20Mシャトルランの結果が基準年の25年度を下回り、全身持久力が十分でないと考えられます。
- ・ 体力運動能力調査の全国水準（100）との比較【小学校5年生：女】／○ 順調に進捗
- ・ 体力運動能力調査の全国水準（100）との比較【中学校2年生：男】／△ 遅れが生じている
20Mシャトルランと50M走の結果が、25年度を上回っている一方、全国平均も上昇しており、全体として28年度を下回りました。正しい姿勢で走ることを意識して運動することが十分でないと考えられます。
- ・ 体力運動能力調査の全国水準（100）との比較【中学校2年生：女】／△ 遅れが生じている
50M走と反復横跳びの結果が、25年度を上回っている一方、全国平均も上昇しており、全体として28年度を下回りました。敏捷性に係る運動や正しい姿勢で走ることを意識して運動することが十分でないと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「将来を担う子どもたちを育てる小中学校の教育内容や施設の整備が充実している」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 小中学校教育の充実

（現状の問題点）

学力検査では、中学校2年生国語と中学校2年生数学のNRT検査結果において、28年度を下回っている分野や無回答が多い問題があります。

体力運動能力調査では、指標項目となっている対象学年全てにおいて、走力等で改善が図られていますが、全国平均を下回っています。

（今後の方向性）

学力分野では、各種学力調査を検証機会とした指導改善のCAPDサイクルの構築のため、Cの段階としての目標の達成度の確認と、それを受けた取組内容の重点化を、学校全体で組織的に取り組む体制を構築します。また、各小中学校で作成する「調査結果活用レポート」の内容を校内の全教職員で共有し、学校における組織的な取組を推進します。

体力運動能力分野では、「走る」「投げる」「跳ぶ」に特化し、体力の向上を図ります。また、体育の授業や部活動を通して、ウォーミングアップの重要性を理解させ、正しい身体の使い方を習得させることで、基礎体力の向上を図ります。

・ 幼稚園教育の充実

（現状の問題点）

一部の幼稚園では、園児の少人数化に伴い、集団での遊びや体験の機会が減少し、発達段階に応じた幼児教育が保障されにくい状況が生じています。

（今後の方向性）

幼児の数が極端に少なく、学年の異なる園児の混合保育となっている幼稚園については、閉園を検討します。

・ 高等学校教育の充実

（現状の問題点）

進学・就職進路達成率及び国公立大学合格率は目標値を上回っていますが、引き続き、進路指導の充実と学力向上を図る授業の充実が求められています。

（今後の方向性）

岩手大学の教職員大学院と連携し、生徒が意欲を高め、主体的に活動する授業づくりを進めるとともに、大学入試改革への対応のため、対話による授業展開についての教員研修を実施するなど、教員の能力向上を図ります。

就職支援相談員の継続配置に努めます。

- ・ **教職員研修の充実**

- (現状の問題点)

- 公開講座の開催時期について、学校から長期休業中は負担が大きいとの声が寄せられています。

- 公開講座参加者アンケートにおいて、満足度は向上しているものの要因分析までは至っていません。

- (今後の方向性)

- 公開講座の開催時期と研修日程を検討します。参加者アンケートの内容及び方法を検討します。

- ・ **学校施設の整備・充実**

- (現状の問題点)

- 計画的な保全の実施と施設の長寿命化に向けて、財源の確保が必要となっています。

- (今後の方向性)

- 「長寿命化工事実施マニュアル」に基づき、事業費の精査等限られた財源を効果的に活用します。

- 「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」との整合を図りつつ、施設の複合化等が円滑に進むよう関係団体、関係部署と緊密な調整を図ります。

施策18 生涯学習の推進

誰もが楽しみや生きがいを持ち、豊かに暮らすことができるように、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築を図ります。

■ 主要事業の実績

市民ニーズを把握しながら、各公民館等において、家庭教育支援・青少年教育・成人教育・高齢者教育・芸術文化活動・生涯学習推進・地域連携など幅広いテーマで学習機会の提供に努めました。

また、区界高原少年自然の家の大規模改修や薮川地区公民館の新設を行い、市民の良好な学習環境の整備に努めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
社会教育促進事業	一般	★	学校・家庭・地域連携推進事業，生涯学習推進事業，社会教育団体活動支援，成人のつどい式典実施など	10	10	0
社会教育施設整備事業	一般		外山小学校解体工事，薮川地区公民館建設工事など	157	145	0
施策の計（一般会計）				167	154	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの生涯学習をした」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 40.6 H27 41.7 H28 33.0 H29 33.8 H31 目標値(43.9) H36 目標値(47.2)</p>

・ 「この1年間に生涯学習をした」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

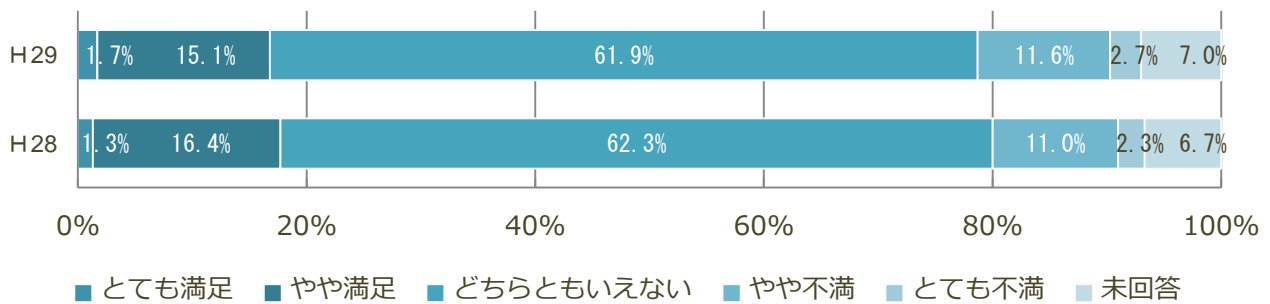
社会教育施設における学習講座は、多くの参加が期待できる市民が学びたいテーマだけでなく、社会の変化に応じて学んでほしいテーマとのバランスを図りながら実施する必要があることや、講座開催が日中に偏っていることが、主催講座の参加者が伸びない要因と考えられます。

また、ライフスタイルの多様化、情報通信機器の発達等により、生涯学習に対する市民意識が変化していることもその背景にあるものと考えています。

その他、学習活動の機会や時間の確保が難しい働き世代・子育て世代の講座参加者数が少ないことが分かっています。

■ 施策に対する市民の実感

「いつでもどこでも学ぶことができる各種講座の開設や生涯学習環境が整っている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 社会教育の充実

（現状の問題点）

学びの循環推進事業では、多彩な講座メニューを用意し、市民の継続的な学習活動に活用されていますが、依頼団体が固定化する傾向が見られます。

（今後の方向性）

社会教育に関する事業の効果的な周知方法を検討するとともに、家庭教育支援、青少年教育など社会教育に係る学習機会の充実と団体の育成支援を継続します。

・ 社会教育施設の整備・充実

（現状の問題点）

老朽化が進む社会教育施設の計画的な改修が必要となっているほか、新たな施設整備要望への対応についても検討が必要となっています。

（今後の方向性）

老朽化した社会教育施設の計画的な改修に努めるとともに、「公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針」との整合を図りながら、市民ニーズに対応した新たな施設整備の必要性を検討します。

施策19 社会を担う人材の育成・支援

将来を担う若い世代や女性がライフスタイルに合わせ、社会のさまざまな場面で活動できるように、人材の育成や情報の提供などの支援に取り組みます。

■ 主要事業の実績

県が設置する「ジョブカフェいわて」に、カウンセラーを配置し、若者の就業支援を行いました。

国が設置する「もりおか若者サポートステーション」において、ボランティア活動の場の提供や臨床心理士によるカウンセリングなどを実施し、若年無業者の就業に向けた支援を行いました。

高校生が市内の民間企業でのインターンシップを経験できるよう、参加企業の拡充を図るとともに、高校生とのマッチングを行いました。また、高校生を対象とした職業観の形成や地元定着の意識付けを図るための研修を実施しました。さらに、高校生や高校の教員を対象とした企業見学会を実施しました。

若者の地元定着を支援するために、就職後3年目までの若手社員を対象に、コミュニケーションスキル向上研修、キャリア開発研修等を実施しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
若者の就業支援事業	一般		ジョブカフェいわて、若者サポートステーションの運営業務委託、新社会人就職定着支援など	12	12	0
施策の計（一般会計）				12	12	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																					
地域若者サポートステーションの支援を受けて就職を決定した人数*	↗	人	<table border="1"> <caption>地域若者サポートステーションの支援を受けて就職を決定した人数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>116</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>116</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>66</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>68</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	116	-	H27	116	-	H28	66	-	H29	68	-	H31	-	140	H36	-	140
年度	実績値	目標値																						
当初値	116	-																						
H27	116	-																						
H28	66	-																						
H29	68	-																						
H31	-	140																						
H36	-	140																						
ジョブカフェいわての利用者数	↗	人	<table border="1"> <caption>ジョブカフェいわての利用者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>29,529</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>32,310</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>31,938</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>42,851</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>30,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	29,529	-	H27	32,310	-	H28	31,938	-	H29	42,851	-	H31	-	30,000	H36	-	30,000
年度	実績値	目標値																						
当初値	29,529	-																						
H27	32,310	-																						
H28	31,938	-																						
H29	42,851	-																						
H31	-	30,000																						
H36	-	30,000																						

* 厚生労働省への報告が義務付けられている対象者の人数を採用していますが、27年度から報告対象が変更されたため、指標も「進路を決定した人数」から「就職を決定した人数」に見直しました。当初値は27年度の実績値としています。

・ 地域若者サポートステーションの支援を受けて就職を決定した人数／△ 遅れが生じている

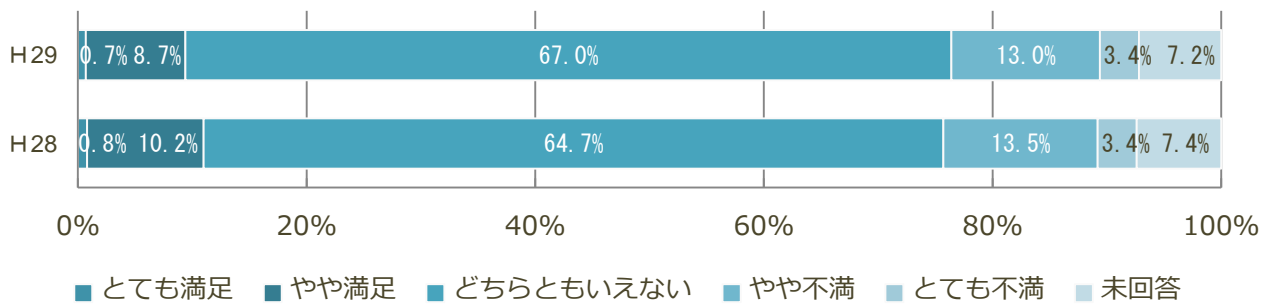
各関係機関と病院との連携が図られているほか、利用者数も増加傾向にあり、一定の人数が就職することができたものの、目標値の約半数に留まっています。

・ ジョブカフェいわての利用者数／◎ 非常に順調に進捗

県が設置する「ジョブカフェいわて」において、県と連携しながら就職等に関する決め細やかなカウンセリングを実施できていることが要因の一つと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「ライフスタイルに合わせた、若い世代や女性の活躍を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 若い世代の活躍支援

（現状の問題点）

若年無業者となる背景には、心身の健康上の理由や人間関係に関する不安等、多種多様で複雑な要因があり、家族が公にすることを避ける例も多いため、支援を必要とする若年無業者の全容把握が困難な部分があります。

（今後の方向性）

若年者は今後の社会を担う貴重な人材であり、就労や職場定着は重要な課題となっていることから、引き続き若年者や若年無業者の就労支援を行っていきますが、そのためにも、まずは支援機関を利用してもらうための周知・PRに努めます。

施策20 地球環境の保全と自然との共生

地球環境や豊かな自然を次世代に引き継ぐため、地球温暖化対策やごみの減量化・資源化の推進、水や緑の保全などに取り組み、地球環境の保全と自然との共生を推進します。

■ 主要事業の実績

近郊自然歩道9路線について、ガイドマップの配布及び環境部ホームページ上に詳細なコースマップや花暦、鳥暦などを掲載し、適切な維持管理を行い、利用者の利便及び安全確保に努めました。

環境学習講座を20回開催したほか、環境部ホームページに「もりおかエネルギーパーク」の新コンテンツを追加しました。

全てのコミュニティ地区ごとの家庭ごみ排出状況を把握し、住民懇談会を実施するなど廃棄物の発生抑制、資源の再使用・再利用などに取り組みとともに、廃棄物処理の広域化を推進するため、構成8市町でごみの減量や廃棄物のリサイクルについて検討しました。

「盛岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定及び「盛岡市木質バイオマス利用推進アクションプラン」を策定しました。

「盛岡市住宅用太陽光発電システム等設置費補助金」を実施し、太陽光発電システム等の普及を図りました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地球環境啓発事業	一般		環境啓発イベント及び環境学習講座の開催、環境部ウェブサイト保守管理・新規コンテンツ作成委託など	7	7	0
資源集団回収報奨金交付事業	一般		資源集団回収を行う団体に対する報奨金の交付など	37	32	0
地域循環型生ごみ処理推進事業	一般		集合住宅における地域循環型生ごみ処理機の維持管理及び新規地区への設置など、地域循環型モデル地区の推進	4	4	0
地球温暖化対策実行計画推進事業	一般		太陽光発電システム設置への補助、地球温暖化対策実行計画推進基金の積立てなど	22	22	0
生出地域エコタウン事業	一般	★	湧口の補償調査、電気自動車のリース、LED照明のリース	8	5	0
施策の計（一般会計）				77	69	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																					
まちづくり評価アンケート調査「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>80.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>82.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>82.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>80.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>83.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>86.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	当初値	80.8		H27	82.6		H28	82.7		H29	80.4		H31		83.0	H36		86.0
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																						
当初値	80.8																							
H27	82.6																							
H28	82.7																							
H29	80.4																							
H31		83.0																						
H36		86.0																						
まちづくり評価アンケート調査「CO ₂ の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>「CO₂の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>80.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>78.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>79.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>77.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>83.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>86.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	当初値	80.7		H27	78.4		H28	79.2		H29	77.1		H31		83.0	H36		86.0
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																						
当初値	80.7																							
H27	78.4																							
H28	79.2																							
H29	77.1																							
H31		83.0																						
H36		86.0																						
ごみ総排出量*	↓	t	<table border="1"> <caption>ごみ総排出量*</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (t)</th> <th>目標値 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>118,398</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>114,318</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>111,703</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>110,003</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>111,770</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>105,880</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (t)	目標値 (t)	当初値	118,398		H27	114,318		H28	111,703		H29	110,003		H31		111,770	H36		105,880
年度	実績値 (t)	目標値 (t)																						
当初値	118,398																							
H27	114,318																							
H28	111,703																							
H29	110,003																							
H31		111,770																						
H36		105,880																						

* 盛岡市一般廃棄物処理基本計画の改訂にあわせ、28年度に目標値を変更しました。

・ 「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合 / △ 遅れが生じている

28年度までは概ね目標値を達成していましたが、29年度は実績値が当初値を下回りました。実施した事業においては、近郊自然歩道設置総延長等が目標に達していないことや、「地球環境にやさしい生活」の必要性の周知が十分ではなかったものの、従来と同様の事業を実施しており原因は不明です。頻発する自然災害や地球温暖化に関する報道などが影響していることも思料されますが、今後は市民の意見を伺うとともに、情報提供の仕方など対応方法の検討が必要と考えます。

・ 「CO₂の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合 / △ 遅れが生じている

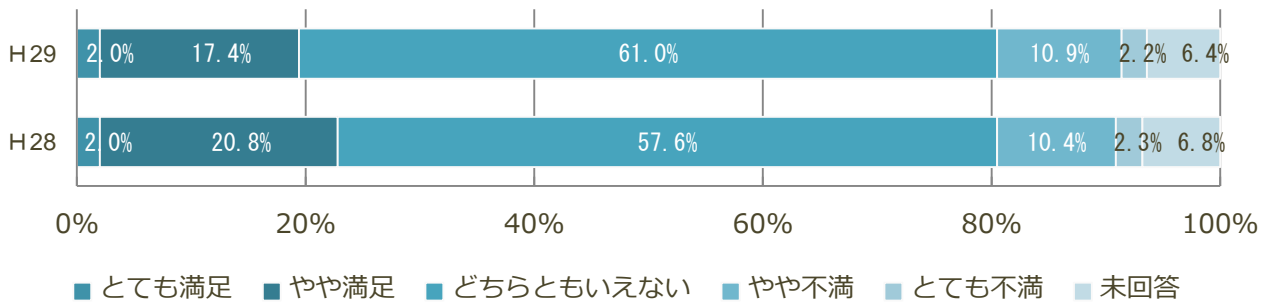
当初値より実績値が低下傾向にあります。29年6月に地球温暖化について市民アンケートを実施（有効回答388名）したところ、地球温暖化に関心がある市民の割合は88.7%と高かったものの、実際に省エネに取り組んでいる市民の割合は68%でした。その理由としては、公共交通機関の利便性が悪いことによる自動車利用や省エネ機器買換に係る費用負担などが挙げられているほか、震災からの復興に伴い環境配慮行動への意識が薄らいでいることも考えられます。

・ ごみ総排出量 / ◎ 非常に順調に進捗

ごみの発生抑制やリサイクルの取組が成果として現れています。

■ 施策に対する市民の実感

「エネルギーの有効利用や廃棄物の発生抑制など、環境への負荷を軽減する取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 自然の保護と活用

(現状の問題点)

玉山地域の近郊自然歩道について、早期設置が必要となっています。

(今後の方向性)

森林や河川などのかけがえのない自然や多様な生物が生息する環境を適切に守り、次世代に引き継ぐとともに、自然に親しむ機会を増やし、より多くの市民が自然を感じられる環境づくりを進めます。

・ 環境を大切にする心の育成

(現状の問題点)

地球環境への貢献に係る環境教育・環境啓発事業への参加者数が頭打ちになっています。

(今後の方向性)

市民や事業者に環境保全に向けた取り組みやすい情報を分かりやすく提供するとともに、環境学習講座の開催や環境啓発の周知を行い、環境を大切にする市民・事業者を育成します。

・ 資源循環型社会の形成

(現状の問題点)

事業系ごみの減量・資源化を促進するための具体的方策の検討が必要となっています。

(今後の方向性)

市民・事業者・行政の三者が協働して、廃棄物の発生抑制、資源の再使用・再生利用などの取組を更に進め、「循環型社会」の推進を目指します。

事業系ごみの搬入規制導入による資源化を推進します。

・ 地球温暖化対策の推進

(現状の問題点)

盛岡市木質バイオマス利用推進アクションプランの具体的事業の検討が必要となっています。

(今後の方向性)

温室効果ガスの排出削減のため、太陽光、風力、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの普及促進を図るとともに、市民の省エネ行動の啓発などを進めます。

基本目標4 人が集い活力を生むまちづくり

施策21 農林業の振興

生産地であり、かつ、消費地である地域特性をいかし、都市部との交流を図りながら、地産地消をベースとした付加価値の増大につながる農林業を推進するとともに、山林農地の有する国土保全・水源かん養などの多面的機能を維持・発揮するため、農林業者の経営力の向上や後継者の育成などの支援に取り組めます。

■ 主要事業の実績

地域で作成した「地域農業マスタープラン」を推進するため、農地調整支援員を配置し、担い手への農地の利用集積，集約化の支援を行ったほか、新規就農者及び担い手の育成・確保に努めました。

盛岡産農畜産物の高付加価値化と販路拡大を図るため、「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」を策定し、「盛岡の美味しいもんアンバサダー」認定制度の取組や事業者向け「盛岡食材紹介セミナー」の開催など食と農に関する各種事業を展開しました。また、農業用水路などの農業施設の維持管理のほか、農業の持つ多面的機能の維持・確保に向けた地域一体となった取組を推進しました。

健全な森林の育成を促進するとともに、「市産材流通推進アクションプラン」に基づき、市産材の安定供給と地域林業の活性化に取り組めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
水田農業構造改革事業	一般		米の計画的生産と水田を有効に活用した麦、大豆等の生産の定着と拡大に係る助成	14	14	0
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業	一般		農業者が組織する団体等に対する農業機械導入・施設整備等に係る経費の補助	12	13	0
果樹産地化事業	一般		早期多収及び省力化を図ることができるりんごの「わい化栽培」のための苗木、支柱などの購入経費補助	1	1	0
食と農の連携推進事業	一般		6次産業化・地産地消の推進に資する戦略づくりとそれに基づく事業者育成や販路開拓支援の展開、盛岡の食の魅力発信など	27	27	0
中山間地域等直接支払事業	一般		中山間地域で耕作放棄防止を内容とする協定に基づき継続して農業生産活動を行う農業者などを支援するための交付金の支給	53	53	0
環境保全型農業直接支払交付金事業	一般		農地・農業用水等の資源や環境の良好な保存に有用な、生物多様性の保全に効果の高い営農活動や有機農業に取り組む団体への補助	26	21	0
畜産振興事業	一般		畜産農家に対する高能力素牛の導入や畜産技術の指導・普及に係る支援など	14	11	0
有害鳥獣対策事業	一般		市鳥獣被害防止計画に掲げる有害鳥獣の捕獲及び被害防除の実施	5	4	0
市産材利用拡大推進事業	一般	(★)	市産材利用住宅の新築等への補助や町内会等による公共的な施設整備への市産材提供	3	2	0
多面的機能支払交付金事業	一般		水路や農道等の管理、軽微な補修及び長寿命化等の活動への交付金支出	240	244	0
農業基盤整備事業	一般	(★)	農業者などが組織する団体が行う農道整備や土地改良への助成を行い、農業生産基盤の整備を支援	71	79	0

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
森林適正管理推進事業	一般	★	森林の造林や除間伐，林内作業道の開設などに対する助成など	5	5	0
市有林造成事業	一般	★	市有林の造成と公益的機能の充実のために行う森林の保育，間伐，作業道改良など	66	70	0
地籍調査事業	一般		根田茂地区の境界の立会及び測量並びに28年度に調査した砂子沢及び梁川地区の測量成果の閲覧及び地籍図の作成	25	24	22
施策の計（一般会計）				560	567	22

・ 地籍調査事業

国の補正予算を活用し，実施地区を追加し地籍調査の進捗を図ったため，実績額（翌年度繰越額を含む）が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
農業総生産額*	↗	百万円	<p>当初値 7,954 H27 7,988 H28 7,926 H29 8,876 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値8,876 H36目標値(9,053)</p>
林業総生産額*	↗	百万円	<p>当初値 532 H27 900 H28 932 H29 958 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(922) H32目標値(966)</p>
新規就農者数	↗	人	<p>当初値 71 H27 97 H28 111 H29 126 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(121) H36目標値(171)</p>
農用地の利用集積面積	↗	ha	<p>当初値 2,476 H27 2,981 H28 3,044 H29 3,170 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(4,230) H36目標値(4,581)</p>

* 推計方法の変更や新しい統計結果等により遡及改訂しており，過去の公表値と異なっています。

・ 農業総生産額／◎ 非常に順調に進捗

29年度の農業生産額（H27実績値）の増加は，主として養鶏業の上昇によるものです。基幹農作物である米，野菜，果樹については微増となっています。

・ 林業総生産額／◎ 非常に順調に進捗

本市の素材生産量は減少傾向ですが，県内の木材需要の高まりから，製材用及びパルプ用素材の価格が上昇し，林業総生産額の増加に寄与しているものと推察されます。

・ 新規就農者数／◎ 非常に順調に進捗

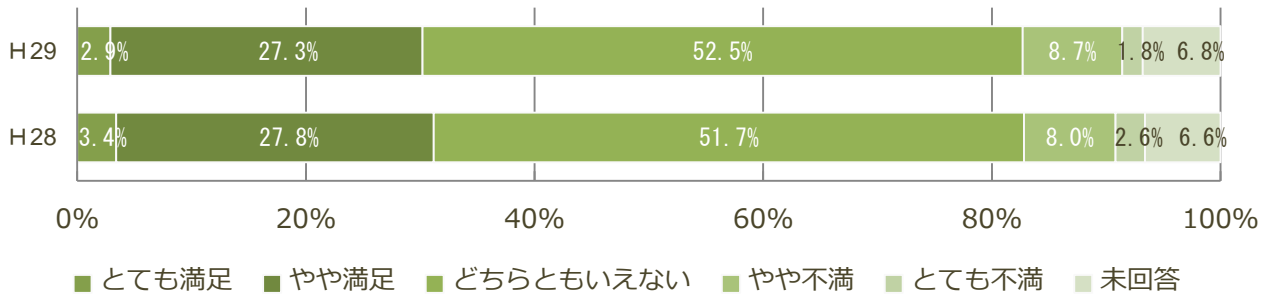
国の「次世代人材投資資金事業」による支援に加え、29年度に市単独の「親元就農給付金事業」を創設したほか、農業経営改善支援員によるきめ細かな相談業務によるものと考えられます。

・ 農用地の利用集積面積／△ 遅れが生じている

「貸し手」と「借り手」のマッチングが順調に進んでいない面があるため、31年度目標達成は困難な状況です。特に、中山間地域においては、耕作条件が悪いことなどから集積が進みにくい環境にあります。

■ 施策に対する市民の実感

「地域特性を生かした、地産地消の取組が進んでいる」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 経営力・生産意欲の向上と後継者の育成

(現状の問題点)

「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」に基づいた盛岡産農畜産物の高付加価値化と販路拡大の着実な推進が必要となっています。

新規就農者については、地域農業を牽引する担い手に成長できるような支援が求められています。

カラス、ニホンジカ等の有害鳥獣により、毎年2千万円以上の農作物被害が発生しています。

林業では、31年度からスタートする新しい森林経営管理制度に対応した取組が必要です。

(今後の方向性)

生産者と消費者の交流の場を通じて、地産地消を推進するとともに盛岡産農畜産物の魅力発信を行います。

新規就農者の確保対策や認定農業者への移行・定着に向けて取組を進めます。

猟友会等関係機関と連携しながら、鳥獣被害対策実施隊員の育成・確保にかかる支援など、有害鳥獣被害対策を強化します。

森林資源の循環利用のため、市産材の需要拡大を推進するほか、新しい森林経営管理制度に対応し、適切な経営管理が行われていない森林における施業の促進や、林業労働力の確保に向けた取組を進めます。

・ 生産基盤の整備

(現状の問題点)

農家の労働力不足に伴い耕作放棄地が増加しています。特に、中山間地域においては、過疎化や高齢化の進展により集落内の農地を維持していくことが困難な状況にあります。

林業では、市内の森林の多くが利用期を迎えており、森林資源の循環利用が求められています。

(今後の方向性)

地域特性に応じた土地改良事業、老朽化した水路の更新・改修を推進するほか、地域協働による農用地保全活動への支援を行います。また、担い手に対する農地の集積・集約化を推進するほか、スマート農業の導入を推進し、生産性の向上を図ります。

消費者から選ばれる産地を目指し、消費者と市場のニーズに対応できる生産体制の構築を推進します。

私有林の間伐作業や再生林に対し支援を行い、森林資源の循環利用を促進します。

施策22 商業・サービス業の振興

商業の活発な事業活動を展開させるため、地域特性をいかしたにぎわいのある商店街の形成や、生産者、消費者、商業者等の連携の促進、多様なサービス業の育成・活性化の支援など、商業・サービス業の振興を図ります。

■ 主要事業の実績

盛岡商工会議所等と連携し、各商店街に対し、市商連を通じたイベント開催等への補助などを行いました。また、地方創生交付金事業を活用し、魅力のある商品を扱う県内の生産者と中心市街地の商店街等の個店とのマッチングを図る事業を実施するなど、商店街・個店の魅力向上を図りました。

中心市街地の商店街の活性化を図るため、空き店舗出店費補助金（空き店舗への新規出店者に対する改装費の一部を助成する制度）による空き店舗の活用を促進したほか、「MORIO-Jカード」を活用した地域ポイントカード事業により、中心市街地の回遊性の維持に寄与しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
商店街活性化支援事業	一般	(★)	商店街のイベント、商店街からの情報発信、個店の魅力アップ、空き店舗対策などの支援	10	8	0
商工団体育成事業	一般		商工団体に対する事業費補助などの活動支援	36	36	0
商店街等指導事業	一般		商店街や業界団体等に対する経営指導、商店街の組織強化に対する支援	1	1	0
中央卸売市場活性化事業	市場		市場活性化ビジョンの推進（活性化アクションプランへの助言指導業務委託、卸売市場開放デー開催など）	1	1	0
施策の計（一般会計）				46	44	0
施策の計（一般会計以外）				1	1	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
卸・小売の年間販売額*	↑	億円	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
サービス業の事業所数*	↑	事業所	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>

* 経済センサスにより数年に一度調査している項目であるため、調査がない年度の数値は掲載していません。

・ 卸・小売の年間販売額／◎ 非常に順調に進捗

26年度に比べて特に卸売業の販売額が増加していますが、岩手県内の経済情勢が回復傾向にあることから、本市においても同様の傾向にあると思われます。

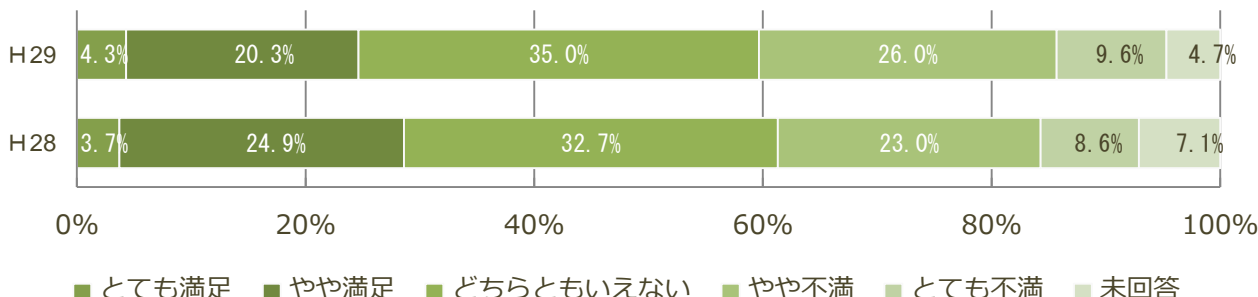
一方、小売の年間販売額は26年度に比べて微増となっており、今後は本格的な景気回復に伴って小売の販売額への波及が望まれる状況にあります。

- サービス業の事業所数／◎ 非常に順調に進捗

サービス業全般に上昇傾向にあり，特に医療，福祉部門の事業所数の増加が顕著で，高齢者の増加による社会的ニーズの高まりが要因と考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「商店街で買い物がしやすい」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

- 魅力ある商店街の形成支援

(現状の問題点)

中心市街地の自転車歩行者通行量が28年度と比較し増加したため，減少傾向に歯止めがかかりましたが，依然として自転車通行量の減少が大きくなっている状況です。

(今後の方向性)

29年度に策定した，「盛岡市商業振興ビジョン」に基づき，商業振興施策を体系的，計画的に推進していくとともに，「中心市街地活性化つながるまちづくりプラン」に基づき，関係団体が相互に連携し，継続して中心市街地の活性化に取り組みます。また，各種事業を推進していくにあたり，市の財政的支援は重要であることから，これを継続します。

- ロジスティクス機能の充実

(現状の問題点)

卸売市場の年間取扱高は減少しており，生鮮食料品等の安定供給，効率的な物流に対する卸売市場の役割が相対的に低下しています。

(今後の方向性)

場内業者・開設者が一体となり，「市場活性化ビジョン2017平成30年度行動計画」に沿って取組を実施することにより，市場の活性化を図ります。また，生鮮食料品等の効率的な物流を図ります。

- 多様なサービス業の振興

(今後の方向性)

盛岡三大麺普及協議会が各種事業を推進していくにあたり，市の財政的支援は重要であることから，これを継続するほか，協議会の運営面についても継続して調整，支援を行います。

施策23 工業の振興

製造業等の活発な事業活動を展開させるため、大学や公的研究機関などとの連携を進めるとともに、企業の新技术や商品開発、海外展開を支援するほか、新事業創出や起業の支援、産業集積基盤の整備、ものづくり人材の育成など、工業の振興を図ります。

■ 主要事業の実績

経済復興専門員に代わり、新たに企業サポート専門員を配置して企業訪問を引き続き実施する体制を整え、70件の企業訪問を行いました。

計画していた企業数と同数の2社が補助事業を活用し、大学等と共同研究を実施しました。

周辺市町と連携して実施した起業家塾@もりおかの卒業生による新規創業がありました。

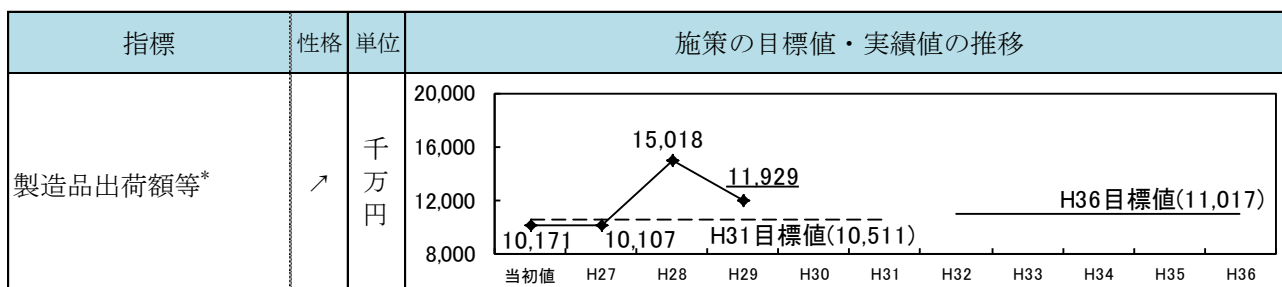
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
工業振興事業	一般		製造業者や事業者に対する助成制度の運用、企業訪問による企業経営課題への助言・指導支援、浜民運動場測量など	34	15	4
産業支援事業	一般		経営相談窓口の設置及び専門家派遣、中小企業の研究開発の支援	2	2	0
産学官連携研究センター管理運営事業	一般		産学官連携研究センターの管理運営	19	19	0
新事業創出支援センター管理運営事業	一般		新事業創出支援センターの管理運営	8	9	0
産業支援センター管理運営事業	一般		産業支援センターの管理運営	16	17	0
施策の計（一般会計）				79	62	4

・ 工業振興事業

浜民野球場の売却に係る撤去工事について、樹木伐採と撤去解体を分離発注したことにより、当初計画より低廉となったため、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況



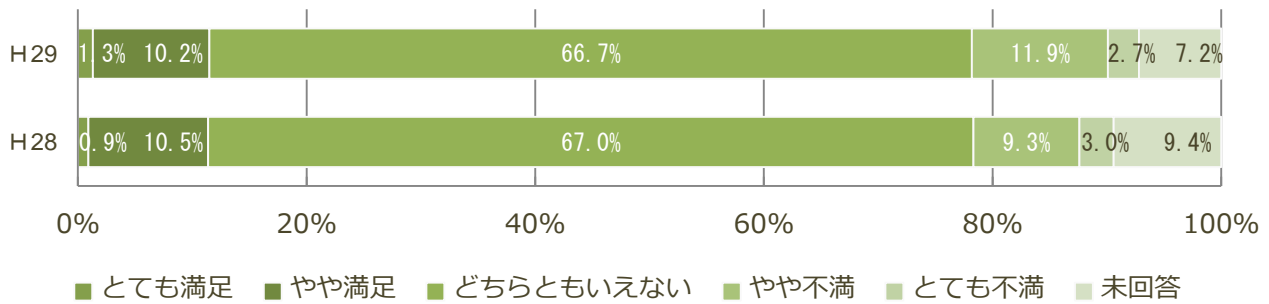
* 計画策定時は、速報値を当初値に用いて目標値を設定していましたが、確定値が目標値を超えたため、28年度に目標値を変更しています。

・ 製造品出荷額等／○ 順調に進捗

製造品出荷額等の実績値が大きく増加しており、個別企業の特殊事例なども想定されますが、企業の設備投資に対する補助事業が活用されていることから、市のリーディング産業である金属製品製造業などの業績が好調であることが指標に表れたものと認められます。

■ 施策に対する市民の実感

「大学や公的研究機関などとの連携や、新事業創出や起業の支援など、工業の振興への取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 地場企業の経営力の強化

（現状の問題点）

研修会等の開催数が減少しています。

国内外を対象とした販路開拓支援事業が国内の出展のみとなりました。

（今後の方向性）

企業訪問により事業者の意向を把握し、事業者の共通する課題の解決が図られるような研修会を実施するとともに、事業者の個別課題等も把握し、情報提供や助言・指導を行います。また、計画的・効率的な企業訪問に努めます。

販路開拓支援事業について、一層の周知に取り組みます。

・ 産学官金連携と新事業育成の支援

（現状の問題点）

企業2社が補助事業を活用し、大学等と共同研究を実施しましたが、製品化には更に研究が必要な状況にあります。また、「産+学+官+金+民」による新事業育成の支援体制が有効に機能するように取り組む必要があります。

（今後の方向性）

インキュベーションマネージャー等との情報交換によるインキュベーション施設の活用と有効な支援策の研究、高等教育機関や産業従事者等と連携した人材の育成に係る支援策の検討、産学官金の関係者との緊密な情報交換による実効性のある支援策の研究を行い、それらを踏まえた支援を実施します。

・ 企業集積と生産基盤の拡充促進

（現状の問題点）

製造業等の新たな企業立地が進んでいないため、盛岡テクノパークの残地も未売却となっています。

（今後の方向性）

盛岡テクノパークの残地について、引き続きPRに努めるとともに、入居企業の用地拡充の方向性を併せて検討し、盛岡テクノパークの残地や整備中の道明地区に工場の集積が図られるよう補助制度の見直しを図ります。また、道明地区において新たな産業等用地の整備に取り組みます。

・ 創業・起業の支援

（現状の問題点）

起業家塾@もりおかを受講した創業者または創業希望者がインキュベーション施設へ入居し、インキュベーションマネージャー等の支援を受けるといった流れの創業が少ない状況にあります。

（今後の方向性）

インキュベーション施設への入居メリット等の情報を、起業家塾で周知するとともに、アフターフォローやホームページ等により創業者に周知します。

施策24 観光の振興

盛岡に多くの人を訪れるようにするため、地域資源を活用した観光地域づくりと広域的な観光交流の促進に努め、積極的な情報発信により、国内外の旅行者やコンベンションの誘致を推進するとともに、祭り・イベントの充実や特産品などの物産の振興、おもてなしの心の醸成や受入態勢の整備など、観光の振興を図ります。

■ 主要事業の実績

盛岡の歴史・文化やまち並み、伝統芸能などの地域資源を活用したイベント開催や、首都圏等で開催する盛岡デーや観光と物産展を通じた魅力発信・特産品のPRなどにより、盛岡ファンの獲得・拡大に努め、目標とする観光客入込数 500万人回を達成しています。また、関係団体や民間事業者と連携したMICE（マイス）誘致の取組、広域連携による滞在・周遊型観光の推進、東北六魂祭の後継イベント「東北絆まつり」を核とする東北六市連携による観光PR活動などを通じ、盛岡の認知度・知名度の向上を図りました。

全国的に外国人観光客が増加する中、まちなか観光における多言語対応や外国語による情報発信、盛岡広域圏や東北六市連携による海外プロモーション展開により、外国人観光客入込数は、対前年比4割増となる3万4,249人回となりました。

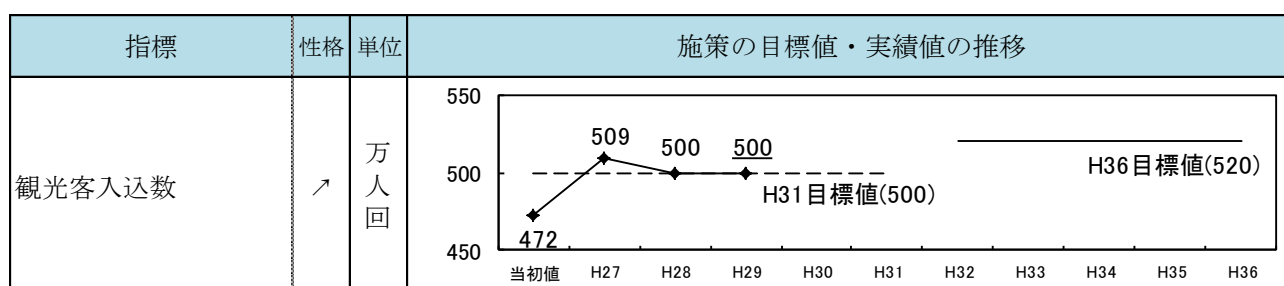
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
盛岡デー等観光PR事業	一般	(★)	盛岡デー、東北絆まつりなどの開催による総合的な観光PR活動	42	41	0
祭り・イベント振興事業	一般		伝統行事・祭り支援（盛岡さんさ踊り、チャグチャグ馬コ、盛岡秋まつり山車など）、イベント開催支援（盛岡花火の祭典など）	54	53	0
物産振興事業	一般	(★)	盛岡貿易情報センター事業運営費負担金、産業まつりの開催、盛岡特産品ブランド認証制度の見直しの実施	4	3	0
MICE（マイス）誘致推進事業	一般		盛岡広域圏内を主会場として開催する一定規模以上の会議やコンベンションなどに対する補助	24	24	0
広域観光推進事業	一般		関係団体（岩手県観光協会、八幡平国立公園協会、盛岡駅観光案内所など）への支援・補助	15	15	0
道の駅設置事業	一般	★	基本計画策定	38	1	0
施策の計（一般会計）				177	136	0

・ 道の駅設置事業

用地不足等の問題により基本計画策定に遅れが生じ、基本設計作成業務委託を実施出来なかったほか、整備方針検討会が開催できなかったため、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況



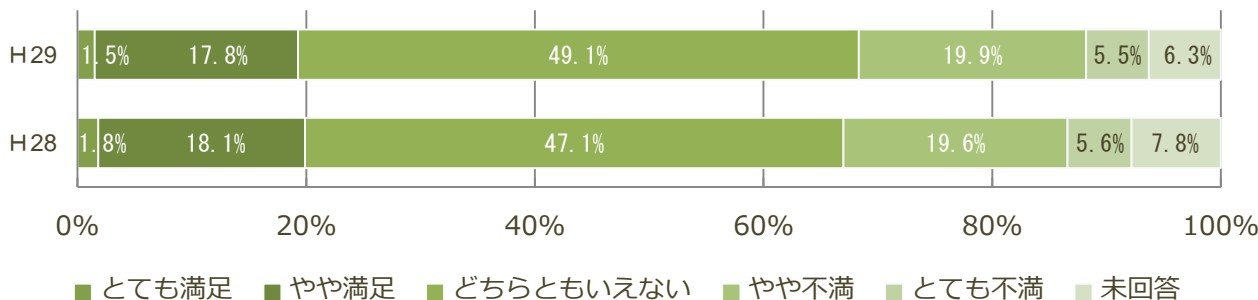
・ **観光客入込数**／◎ **非常に順調に進捗**

盛岡広域圏や東北六市連携によるプロモーション活動，地域資源を活用したイベント開催や情報発信等により，観光地域としての認知度の向上や訪問先の選択につながっていると考えられます。

外国人観光客の増加の要因としては，訪日外国人旅行客の増加に加え，北海道新幹線の開業効果，いわて花巻空港発着の国際チャーター便運航による効果が大きいと考えられます。

■ **施策に対する市民の実感**

「観光地としての魅力が溢れている」と感じる市民の割合



■ **現状の問題点と今後の方向性**

・ **観光情報の発信と観光客誘致の推進**

(現状の問題点)

広域連携によるプロモーションで高いPR効果を得ていますが，効果の全てが盛岡に反映されるものではありません。また，盛岡市内宿泊観光客数は伸び悩み傾向にあり，29年実績は前年を下回りました。

(今後の方向性)

祭り行事やイベント，まちなか観光の充実を図るとともに，観光資源の掘り起こしやブラッシュアップを行い，盛岡の旬な観光情報を積極的に発信します。また，「東北絆まつり2018盛岡」の開催，盛岡デーなどのプロモーション活動を通じ，盛岡ファンの獲得・拡大に努めるほか，観光地域としてのエリアの知名度・認知度の向上に向けて，広域連携による観光PRなどの取組を推進します。

・ **観光地域づくりと滞在型観光の推進**

(現状の問題点)

MICE開催助成制度の導入が東北の県庁所在地で最も遅く，更なる周知が必要です。また，国内旅行市場は伸び悩み傾向にあり，魅力ある観光地域として訴求力を高め，滞在型観光を推進する必要があります。

(今後の方向性)

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて，国内旅行市場の活発化が期待される中，東北六市連携によるプロモーション活動を継続し，各市の夏祭りを軸に東北の自然や文化，食の魅力などをテーマにした広域観光ルートの提案を行うとともに，広域12市町の枠組みによる盛岡・八幡平広域観光推進協議会の事業を通じ，圏域における周遊型・滞在型観光を促進します。また，(公財)盛岡観光コンベンション協会をはじめ関係団体や民間事業者と連携し，MICE誘致の取組を進めます。

・ **国際観光の推進**

(現状の問題点)

外国人観光客が増加傾向にある中，現状では，Wi-Fi環境の整備や，まちなか観光における多言語対応，外国語による情報発信など，外国人の受入環境が十分ではありません。

(今後の方向性)

本市を訪れる宿泊旅行客が増えている台湾とタイを重点市場とし，広域連携による観光プロモーションを強化するほか，訪日リピーターや個人旅行客の誘致に向けた取組について研究し，ホームページの多言語化やWi-Fi環境整備など，外国人観光客受入環境の整備を推進します。また，海外との相互交流の促進に努め，外国人旅行客の一層の誘客拡大を目指します。

施策25 雇用の創出

若い世代を中心とした市民の多様な働く場を確保するため、商工団体等との連携を図るとともに、積極的な企業誘致を展開するほか、創業支援などにより、多様な雇用の創出を図ります。

また、勤労者が安心して働くことができるように、労働環境の向上を促進します。

■ 主要事業の実績

岩手県中小企業団体中央会ほか六つの商工関係団体に対して、岩手労働局、県と合同で要請活動を行い、雇用拡大を図りました。また、若年層の地元定着を図るため、ハローワークや県等との連携による就職面談会を実施したほか、就職を目指す高校生に対する研修会を実施しました。さらに、地元企業を対象に、採用力向上のためのブランディングキャンプ（9社参加）や情報発信力強化のための採用プロモーションサポートプログラム（20社参加）を実施しました。

新たに固定資産を投下した13社を含む20社に対して、固定資産税相当額の補助を行いました。

企業誘致については、県と連携した誘致を推進するとともに、「在京盛岡広域産業人会」を通じた首都圏企業の情報収集のほか、「立地セミナー」の開催に取り組みました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
盛岡広域企業誘致推進事業	一般	(★)	情報関連・研究開発・食料品製造系企業などの誘致	59	48	0
雇用対策推進事業	一般		もりおか就職面接会の開催、正規雇用など雇用拡大に向けた取組	2	3	0
勤労者対策事業	一般		勤労者福祉団体への補助、勤労者向け融資制度の預託	75	75	0
施策の計（一般会計）				135	126	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

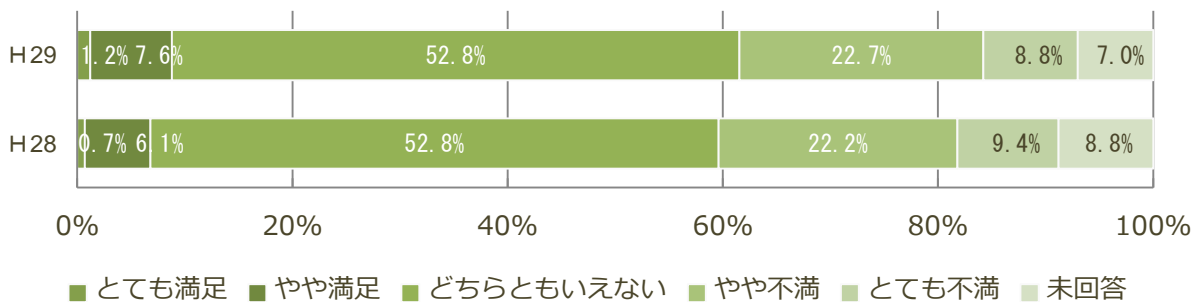
指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率	↗	倍	<p>1.50 1.00 0.50</p> <p>0.94 1.13 1.19 1.29</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(1.00) H36目標値(1.00)</p>
盛岡公共職業安定所管内の就職率*	↗	%	<p>45.0 40.0 35.0 30.0</p> <p>37.4 37.6 38.1 39.1</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(40.0) H36目標値(42.5)</p>

* 就職率＝就職件数÷新規求職申込件数

- 盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率／◎ 非常に順調に進捗
好調な経済動向を背景に、高い求人倍率を維持しています。
- 盛岡公共職業安定所管内の就職率／○ 順調に進捗
企業の活発な採用活動を背景に、目標値には若干及んでいないものの、年々就職率は上昇しています。

■ 施策に対する市民の実感

「企業の誘致や雇用対策の取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 企業の誘致

（現状の問題点）

企業の新規立地に適当な産業用地や空きオフィスが少ないこと、地域人材の確保が難しいこと、盛岡に立地するメリットを明確化できていないこと等の問題が生じています。

（今後の方向性）

引き続き、補助事業等の周知、首都圏等の企業訪問による情報収集や各種情報提供の実施、県及び広域市町と連携した企業立地セミナー等の開催など、新産業用地への誘致を見据えた取組を継続し、企業と誘致担当職員の顔の見える関係の構築に努めながら企業誘致を図ります。さらに、盛岡に立地するメリットとなり得る実効性のある支援について、産学官金の関係者と緊密に情報交換を行い、交付金の活用も検討しながら実施に向けて検討します。

・ 雇用対策の推進

（現状の問題点）

高い求人倍率を背景に、職を求めやすい状況となっていますが、人員を充足できない企業の人材確保や雇用のミスマッチが課題となっています。

（今後の方向性）

企業の採用力向上や若者の企業定着を図るための研修会を実施するほか、ジョブカフェ等と連携した支援により、企業の人材確保及び雇用のミスマッチを防ぐための取組を行います。

・ 勤労者福祉の充実

（現状の問題点）

勤労者福祉については、勤労者福祉サービスセンターの会員数の減少に歯止めがかかったものの、26年度から4年連続して4,000人を下回っており、目標数に届いていません。

また、勤労者融資事業については利用者が少ない状況です。

（今後の方向性）

勤労者福祉サービスセンターについては、会員の増加を図るため、積極的な加入促進活動を実施します。

勤労者融資事業については、利用者の増加を図るため、自動車購入のための融資制度を30年度から実施しています。

施策26 都市基盤施設の維持・強化

快適な市民生活と活発な産業活動を支えるため、道路や橋りょう、公園、上下水道施設などの都市基盤施設の適切な維持管理と機能強化を図ります。

■ 主要事業の実績

市道改良率の向上や除雪延長の増加により、市民の通行の安全を確保しました。

上下水道事業については、耐震管の採用や計画的な経年管更新事業、汚水管整備や浄化槽補助事業、雨水排水施設整備に取り組みました。

土地区画整理事業及び生活環境整備事業による住環境改善を進めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
建築指導事務	一般		建築指導・確認審査、中間検査、完了検査に係る事務など	4	3	0
耐震診断・改修促進事業	一般		木造住宅の耐震診断及び耐震改修に対する補助など	2	1	0
道路橋りょう維持管理事業	一般		市道舗装補修、点検や道路照明灯電気料など	604	667	1
橋りょう維持補修事業	一般		葛西橋、寺山橋、平内橋、前潟橋、川原橋、松木平橋、御厩橋、下大沢橋、中堤歩道橋の改修工事並びに谷地跨線橋外4橋及び葉の木沢跨線橋外2橋の橋りょう定期点検負担金	356	232	94
道路除排雪事業（除排雪委託ほか）	一般		バス路線及び通学路等の除排雪、主要交差点及び急坂部への凍結防止剤の散布など	655	1,209	0
道路除排雪事業（除雪車両等購入費）	一般		町内会等へ貸し出す小型除雪機の購入	6	5	0
身近な暮らしを支える道路事業	一般	(★)	尻志田線、高櫓線、本町通一丁目名乗沢2号線、みたけ4号線、津志田白沢線など	1,779	759	908
都市公園整備事業	一般		中央公園、高松公園、岩山公園の整備など	330	93	31
旧盛岡競馬場跡地（自由広場ゾーン）整備事業	一般		駐車場等整備工事、防球ネット設置工事、トイレ兼倉庫整備工事など	310	294	0
お城を中心としたまちづくり事業	一般		盛岡城跡石垣修復実施設計及び施設撤去工事、亀ヶ池橋りょう下部構造等検討業務委託など	50	29	5
公園等維持管理事業	一般		公園施設の修繕、街路樹の維持管理など	194	179	0
花と緑のまちづくり事業	一般	(★)	花と緑のガーデン都市づくり、地域緑化支援など	19	18	0
上水道安全対策事業	水道		重要給水施設配水管の整備	433	140	272
配水管整備事業	水道		配水能力増強事業、経年管対策事業、未給水地域解消事業、配水調整ブロック整備事業など	1,580	954	557
水道水源水質保全促進事業	水道		水源かん養林植栽地下刈り、水道水源水質保全計画調査	6	6	0
浄配水場施設整備事業	水道		浄水場の設備更新、導水管更新工事など	518	231	58

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
鉛製給水管解消事業	水道		鉛製給水管の布設替工事に対する補助	3	1	0
公共下水道汚水施設整備事業	下水		汚水管渠の整備など	901	326	567
流域下水道建設負担金事業	下水		北上川上流流域下水道都南処理区の整備 (流域幹線及び処理場施設整備への負担金)	171	119	0
公共下水道改築更新事業	下水		既存施設の耐震調査, 管更生工事	415	143	58
浄化槽整備事業	一般	(★)	浄化槽設置整備に対する補助	32	22	0
公共下水道雨水施設整備事業	下水		雨水管渠の整備など	773	457	522
太田地区整備事業	一般		建物等移転補償, 道路築造, 宅地造成など	1,463	1,089	207
都南中央地区整備事業	一般		建物等移転補償, 道路築造, 宅地造成など	338	134	111
道明・下飯岡地区整備事業	一般		建物等移転補償, 道路築造, 宅地造成など	618	409	130
優良建築物等整備事業	一般		優良建築物等整備事業への補助(中央通三丁目地区)	200	200	0
施策の計(一般会計)				6,961	5,344	1,486
施策の計(一般会計以外)				4,799	2,378	2,033

- ・ 道路除排雪事業(除排雪委託ほか)

積雪量が多く, 出動回数が増えたことにより, 除排雪業務委託料が増加したため, 実績額が大きくなりました。

- ・ 身近な暮らしを支える道路整備, 都市公園整備事業, 太田地区整備事業, 都南中央地区整備事業, 道明・下飯岡地区整備事業

国からの交付金の交付額が当初の見込みを下回ったことに伴い, 事業費を減額したため, 実績額が小さくなりました。

- ・ お城を中心としたまちづくり事業

国からの補助金の交付額が当初の見込みを下回ったことに伴い, 事業費を減額したため, 実績額が小さくなりました。

- ・ 浄配水場施設整備事業

29年度及び30年度の2か年で実施する新庄浄水場薬品注入設備更新工事が, 全額30年度の支出となったほか, 入札不調等により取り止めとした工事があるため, 実績額が小さくなりました。

- ・ 流域下水道建設負担金事業

岩手県が実施する国庫補助事業が減額となったことに伴い, 事業費が減額となり, 実績額が小さくなりました。

- ・ 公共下水道改築更新事業

第一期ストックマネジメント計画(長寿命化計画を含む)が29年度に完了し, 事業費を縮小したため, 実績額が小さくなりました。

- ・ 公共下水道雨水施設整備事業

公共下水道改築更新事業の一部終了に伴い, 減額した事業費を公共下水道雨水施設整備事業として実施したため, 実績額が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

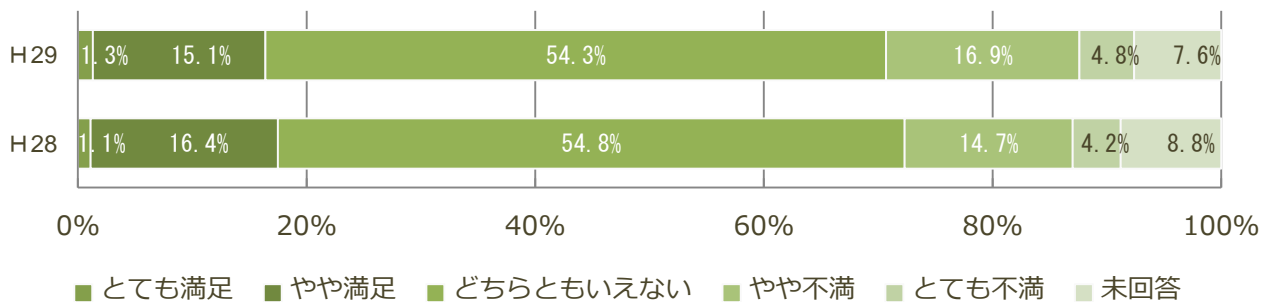
指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
市道改良率*	↗	%	
まちづくり評価アンケート調査「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合	↗	%	
水道管路の耐震化率	↗	%	
汚水処理人口普及率（処理区域内人口／行政区域内人口）	↗	%	
面的整備による生活環境整備率（整備済路線延長／整備計画路線延長）	↗	%	

* 平成28年度に新しく追加した指標です。

- ・ 市道改良率／◎ 非常に順調に進捗
毎年度、舗装新設実績を積み重ねることにより、29年度実績で31年度の目標を達成することができており、事業は順調に推移しています。
- ・ 「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合／○ 順調に進捗
- ・ 水道管路の耐震化率／△ 遅れが生じている
29年度は、工事規模、発注時期を工夫し、概ね計画した工事が実施できましたが、これまでの発注工事の不調・不落により、計画進捗の遅れが生じているため、31年度の目標値達成は困難な状況です。
- ・ 汚水処理人口普及率（処理区域内人口／行政区域内人口）／○ 順調に進捗
未整備地区や土地区画整理事業地区等の下水管渠の整備や浄化槽設置整備事業の推進により、汚水処理人口普及率は31年度の目標値を達成する見込みです。
- ・ 面的整備による生活環境整備率（整備済路線延長／整備計画路線延長）／△ 遅れが生じている
必要とする予算が十分確保できていないため、進捗が遅れており、現在の予算規模では31年度の目標値達成は困難な状況です。

■ 施策に対する市民の実感

「快適で暮らしやすい居住環境が整っている」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 良好な住宅地の誘導

（現状の問題点）

旧耐震木造住宅の耐震診断及び耐震改修の補助事業について、建物所有者の高齢化及び建物の経年劣化による改修工事費の増大等の理由により、応募者が減少し近年募集戸数に達していません。

（今後の方向性）

旧耐震木造住宅の耐震診断及び耐震改修補助事業の周知・啓発を目的とした戸別訪問を、今後も年2回以上実施するとともに、耐震改修工事については、国が新たに創設を予定している補助メニューを積極的に活用することで、応募者の確保を図ります。

・ 安全・快適な道路環境の向上

（現状の問題点）

道路整備や橋りょう維持補修等の予算の安定的な確保が困難となっています。

（今後の方向性）

予算確保については、国への要望活動を行い、交付金の安定的な予算確保につなげます。

・ 都市公園の整備と利用促進

（現状の問題点）

公園整備後の適正な運営・維持管理費用の財源確保が困難となっています。

（今後の方向性）

公園整備の新たな手法である公募設置管理制度（Park-PFI）を活用し、民間事業者による公園施設整備や収益施設から利益の一部を公園運営（維持）管理に充てることにより、魅力ある公園としての継続的な機能の充実を図ります。

・ 都市緑化の推進

（現状の問題点）

公園等の緑化活動を行っている市民への支援や、施設の補修や更新が十分ではありません。

適正な維持管理のための予算確保が困難となっており、街路樹の害虫の発生や枝の張り出しなどマイナス面の影響により、緑（化）地の推進にあたっての地元理解が得づらい状況です。

（今後の方向性）

新たな財源確保と、市民・事業所・団体等が協働で緑のまちづくりを行う仕組みづくりの検討を行います。

・ 安定給水の確保

（現状の問題点）

水需要（使用水量）の減少傾向が継続しているほか、水道施設工事の入札不調があるため、計画的な施設更新を阻む一因となっています。

（今後の方向性）

計画的な水道施設工事の実施に向けて、工事規模や発注時期の調整など、工事業者が受注しやすい発注方法等を検討し、年間を通して継続した工事発注の実施に努めます。

安全な水道水の安定供給を持続するとともに、水道事業に関する情報発信、経営の健全化を図ります。

・ 汚水処理の充実

（現状の問題点）

未整備地区は、集落が点在する郊外部が多数あり、管渠整備による普及率の伸びが低調であるほか、既存施設の老朽化が進行しています。

（今後の方向性）

未整備地区における投資効果等を検討し、整備計画等の見直しを進め、効果的・効率的な管渠整備を進めます。

また、既存施設の定期点検や巡視の強化等による予防保全的な維持管理を実施するとともに、老朽施設の計画的な修繕・改築を進めます。

・ 雨水浸水対策の推進

（現状の問題点）

他事業関連の影響により、計画的な幹線整備の進捗が停滞している箇所があるほか、既存施設の老朽化が進行しています。

（今後の方向性）

他事業の担当部署と調整し、計画的に未整備地区の幹線整備と面的整備を推進します。

施設整備による浸水対策には長期間を要するため、短期的に対応できる浸水被害箇所の側溝整備や枘改良等のほか、既存施設の点検清掃や土のうステーションの設置等のソフト的な浸水防除対策を継続します。

・ 既成市街地の再整備

（現状の問題点）

土地区画整理事業及び生活環境整備事業により、住環境整備や宅地造成が進み、住宅や店舗等が建設され定住人口が増加していますが、必要とする予算の安定確保が困難となっており進捗が遅れています。

（今後の方向性）

確実な予算確保のため、国や県への要望活動を行うとともに、工法や換地設計の見直しなど、事業費の圧縮等による実効性のある事業計画へ変更します。

施策27 交通環境の構築

幹線道路の整備や公共交通機関の利便性の向上を図るほか、自転車走行環境や歩行環境の整備などに取り組むことにより、総合的な交通体系を確立するとともに、マイカー利用の抑制と公共交通や自転車利用の促進を図り、環境にやさしく快適な交通環境を構築します。

■ 主要事業の実績

高齢者の公共交通の利用促進施策である「まちなか・おでかけパス」の年間発売枚数が、目標の1万枚を超えました。また、バス・鉄道利用者数は、31年度目標値を超え増加傾向にあります。

自転車走行空間を整備し、歩行者や自転車利用者の安全で快適な移動環境を整えました。

幹線道路改良率の向上と公共交通の利用促進施策の着実な実施により、主要幹線道路の混雑度は減少傾向にあります。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
公共交通利用促進対策事業（整備関連）	一般		J R 田沢湖線新駅設置可能性調査，バスの日イベント負担金	9	8	0
公共交通利用促進対策事業（ソフト事業）	一般		盛岡駅前広場誘導業務委託，まちなか・おでかけパス事業補助金，広域生活路線維持事業補助金など	59	60	0
自転車の安全と利用促進に関する事業（整備関連）	一般		自転車走行空間整備工事	2	2	0
自転車の安全と利用促進に関する事業（ソフト事業）	一般		自転車ネットワーク計画のパンフレット作成	1	1	0
都市の骨格を形成する街路事業	一般	(★)	梨木町上米内線（第Ⅱ工区），明治橋大沢川原線（大通工区），盛岡駅青山線（前九年Ⅱ工区）など	837	382	425
施策の計（一般会計）				907	452	425

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

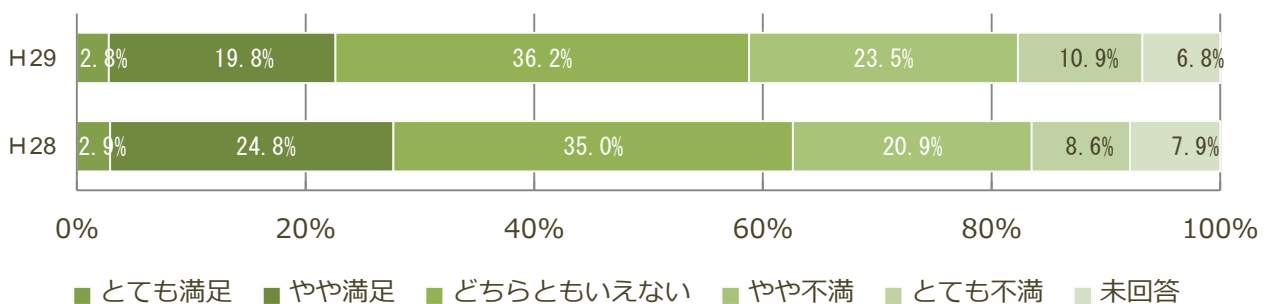
指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																								
平日の主要幹線道路の混雑度	↓	割合	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>H33</td><td>H34</td><td>H35</td><td>H36</td></tr> <tr><th>値</th><td>1.11</td><td>1.04</td><td>1.03</td><td>1.02</td><td></td><td>1.09</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.08</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	値	1.11	1.04	1.03	1.02		1.09					1.08
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																
値	1.11	1.04	1.03	1.02		1.09					1.08																
交通の手段分担率の変化(自動車)	↓	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>H33</td><td>H34</td><td>H35</td><td>H36</td></tr> <tr><th>値</th><td>59.3</td><td>63.9</td><td>64.7</td><td>66.6</td><td></td><td>56.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>53.0</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	値	59.3	63.9	64.7	66.6		56.0					53.0
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																
値	59.3	63.9	64.7	66.6		56.0					53.0																
交通の手段分担率の変化(バス, 鉄道)	↑	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>H33</td><td>H34</td><td>H35</td><td>H36</td></tr> <tr><th>値</th><td>14.7</td><td>12.5</td><td>12.6</td><td>14.0</td><td></td><td>17.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>19.0</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	値	14.7	12.5	12.6	14.0		17.0					19.0
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																
値	14.7	12.5	12.6	14.0		17.0					19.0																

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
交通の手段分担率の変化(徒歩, 自転車など)	↑	%	
1日当たりのバス・鉄道利用者数	↑	人	

- 平日の主要幹線道路の混雑度／◎ 非常に順調に進捗**
 幹線道路整備の着実な推進や、これまで取り組んできた、公共交通機関の利便性向上と利用促進によるマイカーから公共交通への転換が、指標向上に寄与していると考えられます。
- 交通の手段分担率の変化(自動車)／△ 遅れが生じている**
 まちなか・おでかけパスによる高齢者のバス利用が増加している一方、通勤者の「マイカーから公共交通への転換」が進んでいない可能性があり、更なる検証が必要と考えられます。
- 交通の手段分担率の変化(バス, 鉄道)／△ 遅れが生じている**
 通勤時におけるバス, 鉄道の交通手段分担率は増加傾向にあります。31年度目標値を下回っており、モビリティーマネジメントなどの利用促進策が十分浸透していないものと考えられます。
- 交通の手段分担率の変化(徒歩, 自転車など)／△ 遅れが生じている**
 自転車走行空間ネットワークの形成には長期間を要するため、効果発現には時間がかかるものと考えられます。
- 1日当たりのバス・鉄道利用者数／○ 順調に進捗**
 まちなか・おでかけパスにより、高齢者のバス利用が増加しているものと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「幹線道路や公共交通機関が利用しやすい」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 総合交通計画の推進

（現状の問題点）

都市計画道路整備プログラムを実効性のあるプログラムに見直しましたが、財源不足等に伴う道路整備の遅れにより、「快適に移動できる」と答えた市民の割合が増加していません。

社会情勢の変化に合わせ、各種計画の見直しや策定を行う必要がありますが、正確な社会情勢の推測は難しい状況です。

（今後の方向性）

効果的・効率的な整備が図られる都市計画道路整備プログラムとするため、各種計画の実施状況や社会情勢の変化に対応した検証を行い、次期計画の見直しや策定の検討を行います。

・ 公共交通機関の利便性向上と利用促進

（現状の問題点）

まちなか・おでかけパスの販売枚数が年間1万枚を超え、制度検証及び見直しが必要です。

（今後の方向性）

引き続き公共交通利用促進についてPRを実施していくほか、まちなか・おでかけパスについては、制度の検証結果等を踏まえ、バス事業者等と協議しながら、継続していきます。

・ 自転車、歩行者のための交通環境の充実

（現状の問題点）

盛岡市自転車ネットワーク計画に基づき、与の字橋山王町線外1路線において、自転車走行空間を整備しましたが、必要な財源が不十分であり、整備完了区間が少なく、市民アンケートにおいても「自転車で快適に移動できる」と答えた割合が低い状況です。

放置自転車対策について、様々な情報発信等の取組により、盛岡駅周辺での歩道等における自転車等の放置数は減少していますが、盛岡駅から駐輪場までが遠いとの理由で、未だに放置自転車がある状況です。

（今後の方向性）

国、県と連携した自転車走行空間のネットワークの推進について、整備時期の調整や、国の補助制度を活用した整備など財源確保の検討も合わせながら整備に取り組みます。

また、放置自転車対策については、情報発信等を強化するとともに、利便性の高い駐輪場に関する検討を行います。

・ 都市活動を支える幹線道路の整備

（現状の問題点）

事業費の確保が難しい状況です。

入札不調等により発注が遅れ、工事の完成スケジュールが遅れています。

（今後の方向性）

「道路橋梁整備促進同盟会等事務事業」及び「道路対策協議会事務事業」において、国への要望活動を行い、交付金の安定的な予算確保につなげます。

また、入札不調等によるスケジュールの遅れを回避するため、早期発注に努め、着実な工事の実施により、街路整備の進捗を図ります。

施策28 国際化の推進

産業や教育、文化、スポーツなど幅広い分野において、諸外国との交流を促進し、市民の国際感覚の醸成を図るとともに、外国人が訪れやすく、暮らしやすい環境の整備を進めます。

また、企業の国際競争力向上への支援や国際的に活躍できる人材の育成など、国際化の推進を図ります。

■ 主要事業の実績

(公財)盛岡国際交流協会と連携し、中学生ビクトリア市研修の参加者がビクトリア市での学校体験やホームステイ体験を通して姉妹都市交流への理解を深めることにより、国際交流の次の世代を担う人材育成に取り組みました。また、市民や外国籍市民を対象とした各種講座を開催し、異文化への相互理解に取り組みました。

ビクトリア市長や在カナダ日本大使館の特命全権大使の来盛時に、経済・教育関係者と交流する機会を設定しました。

ホストタウン交流事業において、カナダナショナルチームの事前キャンプ誘致実現に向け、スポーツ担当部門と連携し、取り組みました。

東北 I L C 準備室や岩手県などの関係機関と連携し、国際リニアコライダー誘致に向けた国等への要望活動を行ったほか、市民向けの出前講座などを開催し、I L C の普及に努めました。

国際化推進を見据えた「まちづくりの方向性」を検討するため、有識者で構成するアドバイザーボードを設置し、多様な視点からの意見を聴取し、提言を受けました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
姉妹都市等国際交流事業	一般	★	姉妹都市カナダ・ビクトリア市との交流や諸外国との各種交流事業	26	21	0
国際交流関係事業	一般		アールラム大学からの短期留学生の受入れ、教師・生徒のインディアナ州への派遣	2	2	0
施策の計（一般会計）				28	23	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

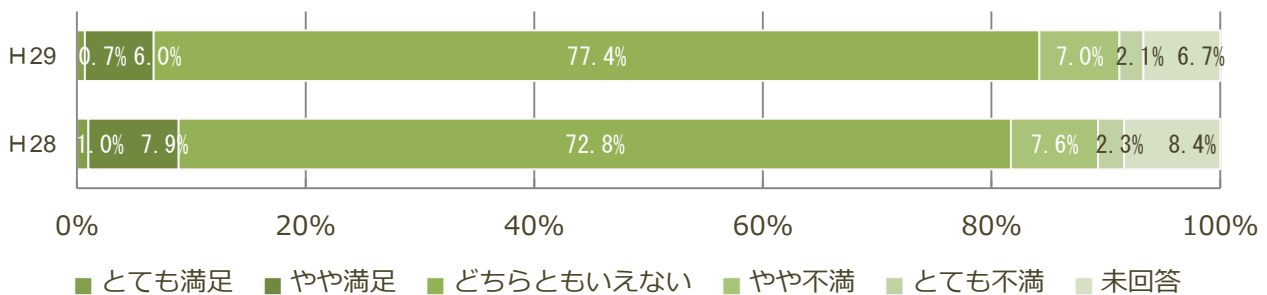
指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「この一年間に国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合	↑	%	

・ 「この一年間に国際交流に参加したことがある」市民の割合／○ 順調に進捗

中学生ビクトリア市研修に対する企業協賛金が昨年度より増額となり、29年度は特別枠の生徒を含め、協賛金受領前より4名増員し、派遣することができました。

■ 施策に対する市民の実感

「異文化にふれ国際交流に参加する機会が充実している」と感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 国際交流の推進

（現状の問題点）

盛岡国際交流協会の賛助会員数が、個人は減少し、団体は新規の申込みがなく会員数が増加していない状況です。

（今後の方向性）

会員向けサービスの充実など、賛助会員にとっても魅力ある事業や特典を検討します。

ホームページのリニューアルを図るほか、ホームページ、フェイスブックやマスメディアを通じた情報発信の強化による協会の活動周知と理解促進に取り組みます。

・ 国際都市づくりの推進

（現状の問題点）

国際リニアコライダーについて、まだまだ市民全体の機運が高まったとは言えない状況です。

また、外国人が訪れやすく、暮らしやすい環境の整備が進んでいません。

（今後の方向性）

国際リニアコライダー誘致決定の正念場の年であることから、引き続き、県、関係市町が一丸となって国への要望、周知活動を進めます。

外国人の受入環境については、アドバイザーボードの提言を参考に、受入環境の整備や国際的に活躍できる人材の育成など、国際化の推進の取組を積極的に進めていきます。

施策29 都市間交流の促進

にぎわいのあるまちを創出するとともに、市民生活の質を高めるため、市民とさまざまな都市や地域の人々との交流を促進します。

■ 主要事業の実績

沖縄県うるま市とは、「いわて・盛岡デー・イン・沖縄」や「ちゅらしま大沖縄展」の実施、さらには、友好都市盟約締結5周年を記念し、友好大使やうるま市の芸能団体がさんさ踊り参加したほか、うるま市で行われた記念式典に盛岡市長らが参加するなど、両市民が物販の購入などを通じ、お互いの文化に触れました。

東京都文京区とは、文京区長のさんさ踊り参加などを通じ、機会を捉え今後の交流促進について意見交換を行いました。

本市が参画している平成・南部藩や秋田岩手地域連携軸推進協議会において、各般の事業が実施され、構成市町間の交流が図られました。

盛岡広域8市町の一体的な発展を目的に策定した「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を着実に推進するため、盛岡広域首長懇談会などを通じて、広域市町間で進捗管理を行うとともに、新規事業の予算化に向けた調整を進めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地域連携交流事業	一般		秋田岩手地域連携軸推進協議会負担金、うるま市との友好都市提携5周年記念事業の実施など	5	5	0
広域連携推進事業	一般		盛岡広域連携中枢都市圏ビジョンの進行管理	1	1	0
施策の計（一般会計）				6	5	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
都市間交流を促進するための協定等の締結数	↑	件	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(4) H36目標値(5)</p>
みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン事業数*	↑	件	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(47) H36目標値(64)</p>

* 28年度に指標を「にぎわいや産業振興につながる自治体連携の取組数」から「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン事業数」に変更しています。

・ 都市間交流を促進するための協定等の締結数／◎ 非常に順調に進捗

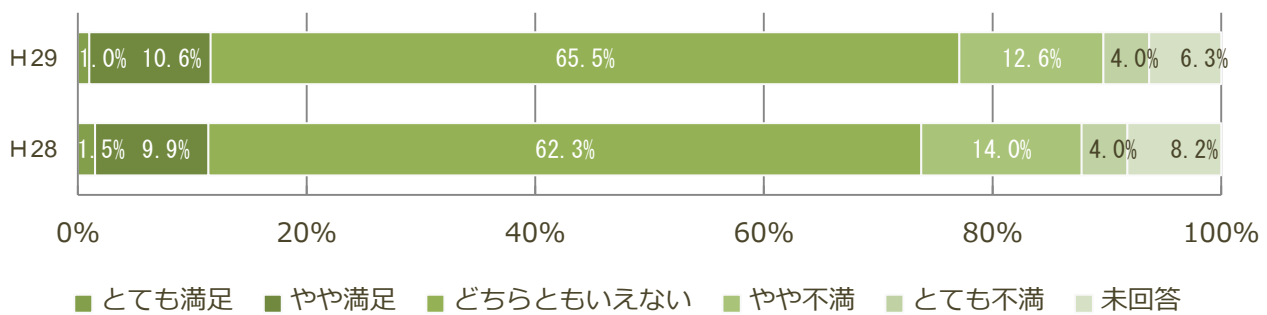
進捗状況としては順調ですが、都市間交流の機会が、イベントの参加など限定的でした。

・ みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン事業数／◎ 非常に順調に進捗

都市圏ビジョンに掲げる新規・拡充事業を事業化するに当たり、広域市町間において、事業実施決定のプロセスや予算編成の調整を行うなどのルール作りを整えることができたためと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「都市間の交流が盛んになり、まちのにぎわい」を感じる市民の割合



■ 現状の問題点と今後の方向性

・ 都市間交流の促進

（現状の問題点）

市民レベルでのさらなる交流の促進が課題となっています。

（今後の方向性）

文京区との友好都市提携が予定されていることから、31年度については、記念事業や市長表敬訪問等を予定しています。

平成・南部藩交流事業について、30年度に事業全体の見直しが予定されています。

市民レベルの交流を促進するため、事業内容や交流機会を増やすことなどを検討しています。

・ 地域間連携の推進

（現状の問題点）

都市圏ビジョンに位置付けられている「今後事業化を検討する事業」の中で、事業化に向けた検討、広域市町間での調整が進んでいない事業があります。

（今後の方向性）

「今後事業化を検討する事業」の事業化に向けた広域市町間での調整の期限を30年度末とする旨、関係課に通達し、事業化に向けた調整を促すよう働きかけます。

都市圏ビジョンの取組期間が32年度までとなっていることから、33年度以降の広域連携事業の取組を検討します。

(2) 主要事業の実績額一覧（基本目標・施策別）

まちづくりの取組では、盛岡市総合計画の基本構想に掲げる「目指す将来像」の実現に向け、4つの基本目標のもと、29の施策の中に、90の小施策、約1,000の事業を位置づけ、毎年度改革改善しながら事業を進めています。

その中でも、各施策において、優先的かつ重点的に実施する事業を「主要事業」に位置づけて施策の推進を図っています。

また、施策の推進に当たっては、「まちづくり指標」として目標を定めて進捗を図っているほか、施策の取組状況などについて、市民の皆さんがどのように感じているか毎年アンケート調査を行い、その結果を「市民の実感」として把握しながら進捗を図っています。

■ 主要事業の実績（基本目標別）

平成29年度は、163事業を主要事業に位置づけながら施策の推進を図り、主要事業の実績額は、全会計合計で107,282百万円となりました。

内訳は下の表のとおりです。

(単位 百万円)

基本目標	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
1 人がいきいきと暮らすまちづくり (65事業)	一般会計	39,864	38,826	551
	一般会計以外	59,239	58,311	0
2 盛岡の魅力があふれるまちづくり (17事業)	一般会計	283	249	0
	一般会計以外	0	0	0
3 人を育み未来につなぐまちづくり (17事業)	一般会計	808	760	816
	一般会計以外	0	0	0
4 人が集い活力を生むまちづくり (64事業)	一般会計	8,899	6,758	1,937
	一般会計以外	4,799	2,378	2,034
計 (163事業)	一般会計	49,854	46,593	3,304
	一般会計以外	64,038	60,689	2,033
	合計	113,892	107,282	5,338

(備考) 1 計画額は29年度当初予算額です。

2 計画額、実績額とも、四捨五入しているため、計と合致しない場合があります。

3 計画額及び実績額が100万円未満の場合は、切り上げています。

基本目標1 人がいきいきと暮らすまちづくり（施策1～10）

盛岡に定住する人口を保ち、活力ある社会を築いていくため、若い世代や子育て世代が住みたい、住み続けたいと思うとともに、豊富な経験を持つ高齢者が社会のさまざまな分野で活躍できるまちづくりを進めました。

また、誰もが、心身ともに健やかで自分らしさを発揮しながら、人がつながり、互いに支え合う共生社会の中で、充実感を持っていきいきと安全に暮らすことのできるまちづくりを進めました。

■ 主要事業の実績（施策別）

（単位 百万円）

施策	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
1 地域福祉の推進	一般会計	181	169	0
2 子ども・子育て、若者への支援	一般会計	9,476	9,463	0
3 高齢者福祉の充実	一般会計	3,803	3,832	0
	一般会計以外	24,732	24,913	0
4 健康づくり・医療の充実	一般会計	6,744	6,474	0
	一般会計以外	34,507	33,398	0
5 障がい者福祉の充実	一般会計	6,136	6,439	0
6 生活困窮者への支援	一般会計	8,932	8,221	280
7 人権尊重・男女共同参画の推進	一般会計	4	4	0
8 安全・安心な暮らしの確保	一般会計	4,054	3,722	271
9 地域コミュニティの維持・活性化	一般会計	212	195	0
10 生活環境の保全	一般会計	323	306	0
計	一般会計	39,864	38,826	551
	一般会計以外	59,239	58,311	0

※ 各施策の詳細については、「(1) 施策別（P4～31）」に掲載しています。

基本目標2 盛岡の魅力があふれるまちづくり (施策11~16)

盛岡を行き交う交流人口を増やし、にぎわいを創出していくため、雄大な自然や美しい景観、城下町の歴史、芸術文化、スポーツ、温かい人情など、盛岡の魅力を守り育てるとともに、まちづくりにいかし、盛岡らしさが光る、魅力あふれるまちづくりを進めました。

■ 主要事業の実績 (施策別)

(単位 百万円)

施策	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
11 歴史・文化の継承	一般会計	53	50	0
12 芸術文化の振興	一般会計	31	37	0
13 スポーツの推進	一般会計	160	127	0
14 「盛岡ブランド」の展開	一般会計	3	3	0
15 良好な景観の形成	一般会計	30	25	0
16 計画的な土地利用の推進	一般会計	6	7	0
計	一般会計	283	249	0

※ 各施策の詳細については、「(1) 施策別 (P32~44)」に掲載しています。

基本目標3 人を育み未来につなぐまちづくり (施策17~20)

長い歴史とともに築いてきた文化や環境などを次世代に引き継ぐため、未来の盛岡を支え、創り、つなぐことのできる人を育むまちづくりを進めました。

また、環境への意識が高まる中、豊かな自然環境と快適な都市機能との調和が続く、持続可能なまちづくりを進めました。

■ 主要事業の実績 (施策別)

(単位 百万円)

施策	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
17 子どもの教育の充実	一般会計	552	525	816
18 生涯学習の推進	一般会計	167	154	0
19 社会を担う人材の育成・支援	一般会計	12	12	0
20 地球環境の保全と自然との共生	一般会計	77	69	0
計	一般会計	808	760	816

※ 各施策の詳細については、「(1) 施策別 (P45~55)」に掲載しています。

基本目標4 人が集い活力を生むまちづくり (施策21~29)

人口減少、少子高齢社会の進行とともに、地方の衰退が懸念されている中であっても、活力を生み出し、拠点都市としての役割を十分に果たしていくため、産業の振興や中心市街地の活性化を図るとともに、高次の都市機能の集積を推進し、求心力のあるまちづくりを進めました。

また、国際化が進展する中で、世界に通用する優れた人材を育むとともに、多文化共生のまちづくりを進め、世界に開かれた、活力を生むまちづくりを進めました。

■ 主要事業の実績 (施策別)

(単位 百万円)

施策	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
21 農林業の振興	一般会計	560	567	22
22 商業・サービス業の振興	一般会計	46	44	0
	一般会計以外	1	1	0
23 工業の振興	一般会計	79	62	4
24 観光の振興	一般会計	177	136	0
25 雇用の創出	一般会計	135	126	0
26 都市基盤施設の維持・強化	一般会計	6,961	5,344	1,486
	一般会計以外	4,799	2,378	2,033
27 交通環境の構築	一般会計	907	452	425
28 国際化の推進	一般会計	28	23	0
29 都市間交流の促進	一般会計	6	5	0
計	一般会計	8,899	6,758	1,937
	一般会計以外	4,799	2,378	2,034

※ 各施策の詳細については、「(1) 施策別 (P56~78)」に掲載しています。

3 計画額と実績額の差が1億円以上となった主要事業

計画額との差が1億円以上となった主要事業と、その主な増減理由は、次のとおりです。

(単位 百万円)

基本目標 施策 主要事業名	計画額 A	実績額 B	増減額 B-A	主な増減理由
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 2 子ども・子育て、若者への支援 私立児童福祉施設等運営事業	5,614	5,461	△153	平成29年度公定価格の加算認定の結果、チーム保育推進加算の適用施設が大幅に減少したこと及び他市町村委託児童数が減少したため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 3 高齢者福祉の充実 地域包括ケアシステム構築事業 (地域支援事業)	879	590	△289	平成29年度に総合事業に移行した介護予防訪問介護及び介護予防通所介護において、実際の利用者が見込みを下回ったため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 3 高齢者福祉の充実 介護保険事業(特別会計)	23,853	24,323	470	介護保険サービスの利用の増加により、保険給付費が増加したため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 4 健康づくり・医療の充実 国民健康保険事業(繰出金)	2,029	1,821	△208	国保事務費が国保税収納率向上等による自主財源の確保により減となったこと、被保険者数が見込みより減少したことにより保険基盤安定繰入金等が下がったこと、国の医療費現物給付による国庫補助減額分が減となった影響によるもの。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 4 健康づくり・医療の充実 国民健康保険事業(特別会計)	31,566	30,436	△1,130	被保険者数の減少により保険給付費が見込みより伸びなかったこと、高額な医療費の発生等に備えるため設置されている県国保連による「共同事業」への拠出金が減額となったこと、予備費を執行しなかったこと等によるもの。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 5 障がい者福祉の充実 介護給付等給付事業	2,845	3,008	163	利用者の増加に伴い、給付金額が見込額を上回ったため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 5 障がい者福祉の充実 訓練等給付事業	2,072	2,223	151	利用者の増加に伴い、給付金額が見込額を上回ったため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 6 生活困窮者への支援 生活保護事業	7,614	7,392	△222	生活保護基準の見直し及び稼働年齢層世帯の減により、被保護者数等が見込みを下回り、扶助費の支出が減少したため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 6 生活困窮者への支援 公営住宅整備事業	1,059	853	△206	社会資本整備総合交付金が減額されたため計画していた工事を取り止めざるを得なかったことや、入札差金(設計額と契約額の差金)が生じたため。

(単位 百万円)

基本目標 施策 主要事業名	計画額 A	実績額 B	増減額 B-A	主な増減理由
3 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 小学校整備事業	36	401	365	国庫補助に合わせて、平成30年度に予定していた事業の前倒し補正を行ったため。
3 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 中学校整備事業	394	753	359	国庫補助に合わせて、平成30年度に予定していた事業の前倒し補正を行ったため。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 道路除排雪事業（除排雪委託ほか）	655	1,209	554	積雪量が多く、出動回数が増えたため。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 身近な暮らしを支える道路事業	1,779	1,667	△112	社会資本整備総合交付金の内示額が計画を下回ったこと等によるもの。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 都市公園整備事業	330	124	△206	社会資本整備総合交付金の内示額が計画を下回ったため。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 浄配水場施設整備事業	518	289	△229	入札不調等により取り止めとした工事があるため。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 公共下水道改築更新事業	415	201	△214	第一期ストックマネジメント計画（長寿命化計画を含む）が29年度に完了し、事業費を縮小したため。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 公共下水道雨水施設整備事業	773	979	206	公共下水道改築更新事業の一部終了に伴い、減額した事業費を公共下水道雨水施設整備事業として実施したため。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 太田地区整備事業	1,463	1,296	△167	社会資本整備総合交付金の内示額が計画を下回ったため。

(備考) 「実績額」は、30年度への繰越額を含む額を記載しています。

4 平成29年度完了事業

平成29年度をもって事業が完了した主要事業は、次のとおりです。

■ 事業自体が完了したもの（1事業）

(単位 百万円)

施策の柱 施策 主要事業名	事業内容	全 体 事業費	H29 実績額	備考 (繰越内訳等)
2 盛岡の魅力があふれるまちづくり 13 スポーツの推進 渋民運動公園整備事業	渋民運動公園の整備（野球場・屋内相撲場等の改修工事，総合体育館の耐震・天井改修工事，B&G海洋センタープール上屋鉄骨塗装改修・上屋膜体取替修繕など）	612	53	

■ 事業は継続するが，構成事業が完了したもの（14事業）

(単位 百万円)

施策の柱 施策 主要事業名	事業内容	全 体 事業費	H29 実績額	備考 (繰越内訳等)
3 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 小学校整備事業				
緑が丘小学校屋内運動場長寿命化改修事業	緑が丘小学校屋内運動場の大規模改修等	245	245	工事請負費ほか
3 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 中学校整備事業				
巻堀中学校耐震・大規模改造	巻堀中学校の校舎増築，既存校舎大規模改造，屋内運動場建築等	1,697	53	
仙北中学校校舎増築	仙北中学校の校舎増築，グラウンド整備等	876	321	
厨川中学校屋内運動場長寿命化改修事業	厨川中学校屋内運動場の大規模改修等	376	376	工事請負費ほか
3 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 小中学施設防災対策事業				
城西中学校屋内運動場改築	プール解体及び屋内運動場建築，既存屋内運動場解体及び跡地整備	506	28	

(単位 百万円)

施策の柱 施策	事業内容	全 体 事業費	H29 実績額	備考 (繰越内訳等)
4 人が集い活力を生むまちづくり 21 農林業の振興 農業基盤整備事業				
【太田西部】 土地改良総合整備補助金	太田西部地区土地改良総合整備事業補助金（償還負担）	232	9	
【盛岡南部】 土地改良事業促進協議会負担金	盛岡南部地区土地改良事業促進協議会負担金（償還負担）	216	14	
【鹿妻新堰】 県営集落基盤整備	鹿妻新堰用水路整備	107	4	
【鹿妻新堰】 農業水利施設保全合理化	鹿妻新堰の地域用水機能増進活動等	1	1	(H29実績額：150千円)
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 身近な暮らしを支える道路事業				
市道舗装新設改良事業	尻志田線の舗装新設及び側溝新設工事	165	50	
本町通一丁目名乗沢2号線(山岸六丁目)	国道4号から山岸地区をつなぐ道路の歩道整備 総延長 190m, 幅員 12.0m	591	127	測量及び登記等委託費, 工事請負費, 補償費
本町通一丁目名乗沢2号線(山岸二丁目外・I工区)	山岸小学校入口からJR山田線踏切をつなぐ道路の歩道整備 総延長 約110m, 歩道幅員 2.5m	131	38	境界杭復元委託費, 工事請負費
割船線	上大ヶ生集落センターから東方面(割船川・乙部川沿い)をつなぐ道路の待避所の設置及び視距改良 総延長 2,000m, 幅員 6.0m	42	25	測量及び登記等委託費, 工事請負費, 用地費, 補償費
4 人が集い活力を生むまちづくり 27 交通環境の構築 都市の骨格を形成する街路事業				
(都)盛岡駅青山線(前九年Ⅱ)	JR盛岡駅から盛岡市北西の青山地区を結ぶ道路の改良工事等 総延長 434m, 幅員 12.0m	661	208	境界杭復元委託費, 工事請負費, 補償費

- (備考) 1 全体事業費及び実績額ともに、四捨五入しています。
2 全体事業費及び実績額が100万円未満の場合は、切り上げています。
3 「実績額」は、30年度への繰越額を含む額を記載しています。
4 30年度へ繰越す事業についても、29年度の完了事業扱いとします。